



TOSTEM

リプラス マンション用 引違い窓 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- 障子または部材脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・高所作業では安全確保や落下防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
 - ・必ず指定のねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
 - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
 - ・網戸の建込み後、必ず自走防止部品にフックをかけてください。



- サッシ枠などを切断した際には、切断した面のバリ取りを行ってください。切断面でケガをするおそれがあります。



- 漏水の原因となりますので下記事項をお守りください。
 - ・既設サッシ枠が別体連窓、別体段窓の場合は、取付け出来ません。
 - ・指定箇所へは、必ず気密テープを張付けてください。
 - ・バークランプは水平に掛けて、止水材がつぶれるまでクランプしてください。
 - ・既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	指定箇所へ気密テープは張付けされているか、また、気密テープに浮きやすき間はないか	<input type="checkbox"/>
2	バークランプをして止水材がつぶれるまでクランプして施工したか	<input type="checkbox"/>
3	障子の建付け調整、外れ止めはされているか	<input type="checkbox"/>
4	網戸の自走防止部品にフックをかけているか	<input type="checkbox"/>

- 2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。

施工説明動画



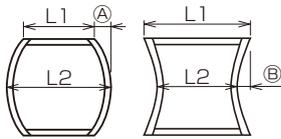
方位カバー
施工説明動画



組立て上のお願ひ

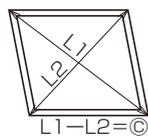
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通することがあります。
- 取付け前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
- 開口に固定する際に、新設サッシ枠が下記の寸法以下になるように取付けてください。

■サッシ枠のフレ・ツツミ



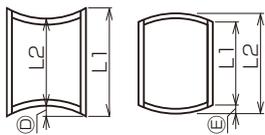
$L2-L1$	A	$L2-L1$	B
3	1.5	3	1.5

■サッシ枠対角差



$L1-L2=C$
C
3

■サッシ上下枠の内反り・外反り



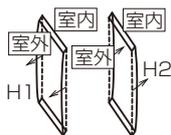
$L1-L2$	D	$L2-L1$	E
3	2	3	1.5

■サッシ枠のねじれ



F
2

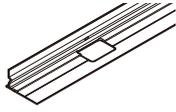
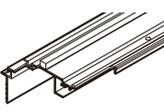
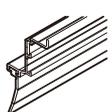
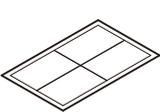
■サッシ枠の室内外の反り



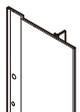
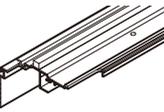
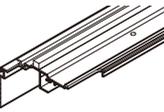
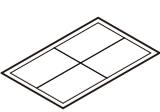
H1	H2
1	1

■部材・部品一覧

●ベース材(RC70)

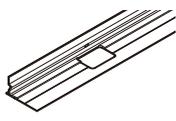
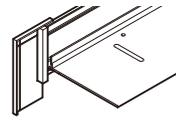
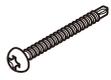
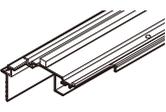
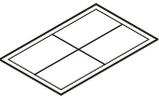
上アタッチ材	上ベース材・上カバー材	取付けねじ			
		上アタッチ材 取付けねじ 	上ベース材・上カバー材 取付けねじ 	上ベース材 取付けねじ 	
上アタッチ材 縦ベース材	上ベース材・上カバー材 下チリ用アングル	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	なべバーリングドリルねじ φ4×40 (D8)	
		下ベース材 	下ベース材・補強金具 縦ベース材(室内)取付けねじ 	下ベース材・縦ベース材 (室内・室外)取付けねじ 	下チリ用アングル 取付けねじ 
縦ベース材	下チリ用アングル	下ベース材	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平バーリングドリルねじ φ4×31 (D7)	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)
下カバー材	縦カバー材	取付けねじ	先貼りコーナーシールセット		
		下・縦カバー材 取付けねじ 			
下カバー材	縦カバー材	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	先貼りコーナーシール		

●ベース材(RC60)

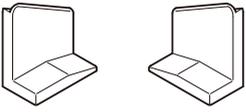
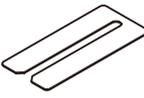
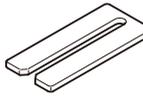
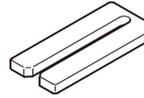
上ベース材・上カバー材	取付けねじ		取付けねじ		
	上ベース材 取付けねじ 	上カバー材 取付けねじ 	下ベース材・補強金具 縦ベース材(室内)取付けねじ 	下ベース材・縦ベース材 (室内・室外)取付けねじ 	下チリ用アングル 取付けねじ 
上ベース材・上カバー材	なべバーリングドリルねじ φ4×40 (D8)	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平バーリングドリルねじ φ4×31 (D7)	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)
縦ベース材	下チリ用アングル	下ベース材	下ベース材	下ベース材・縦ベース材 (室内・室外)取付けねじ	下チリ用アングル 取付けねじ
					
縦ベース材	下チリ用アングル	下ベース材	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平バーリングドリルねじ φ4×31 (D7)	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)
下カバー材	縦カバー材	取付けねじ	先貼りコーナーシールセット		
		下・縦カバー材 取付けねじ 			
下カバー材	縦カバー材	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	先貼りコーナーシール		

■部材・部品一覧(つづき)

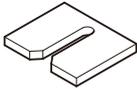
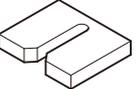
●ベース材(ALC70)

上アタッチ材	上ベース材・上カバー材	取付けねじ			
		上アタッチ材 取付けねじ 	上ベース材・上カバー材 取付けねじ 	上ベース材 取付けねじ 	上カバー材 取付けねじ 
上アタッチ材 縦ベース材	上ベース材・上カバー材 下チリ用アングル	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	なべバーリングドリルねじ φ4×40 (D8)	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)
縦ベース材	下チリ用アングル	下ベース材	取付けねじ		
			下ベース材・補強金具 縦ベース材(室内)取付けねじ 	下ベース材・縦ベース材 (室内・室外)取付けねじ 	下チリ用アングル 取付けねじ 
縦ベース材	下チリ用アングル	下ベース材	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平バーリングドリルねじ φ4×31 (D7)	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)
下カバー材	縦カバー材	取付けねじ	先貼りコーナースीलセット		
		下・縦カバー材 取付けねじ 			
下カバー材	縦カバー材	下・縦カバー材 取付けねじ なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	先貼りコーナースील		

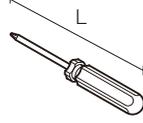
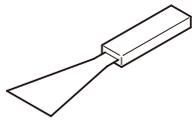
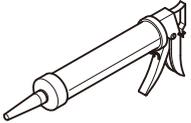
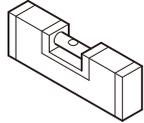
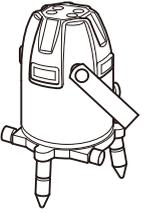
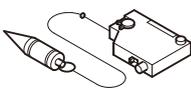
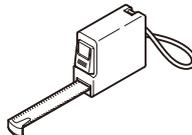
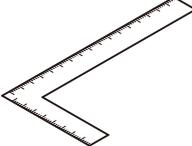
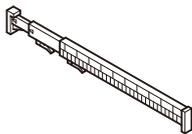
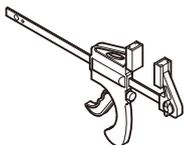
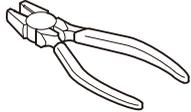
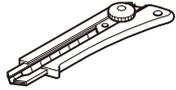
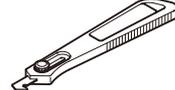
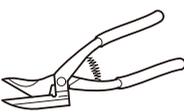
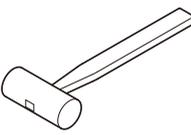
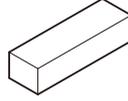
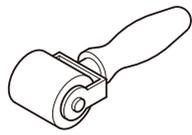
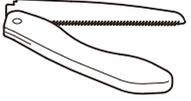
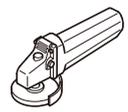
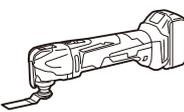
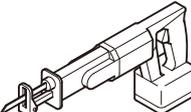
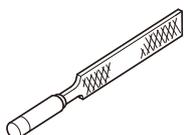
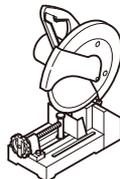
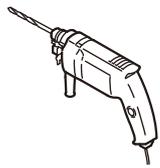
●枠

取付けねじ					
上枠室外側 取付けねじ 	縦枠室外側 取付けねじ 	上枠室内側 取付けねじ 	縦枠室内側 取付けねじ 	下枠室外側 取付けねじ 	下枠室内側 取付けねじ 
平ドリルねじ φ4×45 (D7)	薄平ドリルねじ φ4×28 (8.5)	平ドリルねじ φ4×45 (D7)	薄平ドリルねじ φ4×28 (8.5)	薄平(テーパ付)ドリルねじ (ワッシャー付) φ4×28 (D8.5)	なべドリルねじ φ4×12 (D7)
下枠アングルコーナースीलセット		調整スペーサーセット			
					
アングルコーナースील ※アングルカバー取付け後に取付けしてください。		調整スペーサー t=1.0	調整スペーサー t=3.0	調整スペーサー t=5.0	

●有償品

枠施工スペーサー小		
		
調整スペーサー小 t=1.0	調整スペーサー小 t=3.0	調整スペーサー小 t=5.0
※下枠と窓枠との段差が15mm未満の場合にご使用いただけます(非防火のみ)。		

■取付けに使用する工具一覧

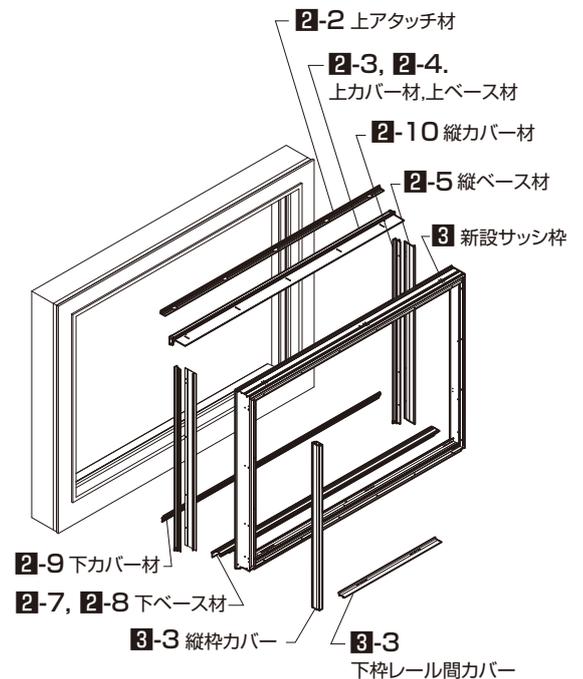
電動ドライバー	ドライバー(手回し)	ドリル刃	ヘラ	シーリングガン	水準器
 トルク調整付 サイズが小さい場合は、Lの小さいドライバーをご用意してください。	 L	 $\phi 2.0 \cdot \phi 2.5 \cdot \phi 3.4 \cdot \phi 4.5$			
レーザー墨出器	下げ振り	スケール	差し金	直尺	伸縮スケール
					※1 
パークランプ	ペンチ	くい切り	カッター	Pカッター	はさみ
※2 		※4 			
金切ハサミ	木づち	当て木	ローラー	非金属用のこぎり	ディスクグラインダー
※4 					※3 
マルチツール	レシプロソー	ヤスリ	切断機	シーリング材	ハンマードリル(振動ドリル)
※3 	※3 		※4 	 シーリング材 変成シリコーンをご使用ください	
コンクリート用ドリル					
 $\phi 3.5$					

- ※1：開口内々を1人で測定する際に使用します。
- ※2：新設サッシ枠を固定する際に使用します。300mm程度必要です。
- ※3：カバー部が干渉する際に使用します。
- ※4：必ず使用するものではありません。

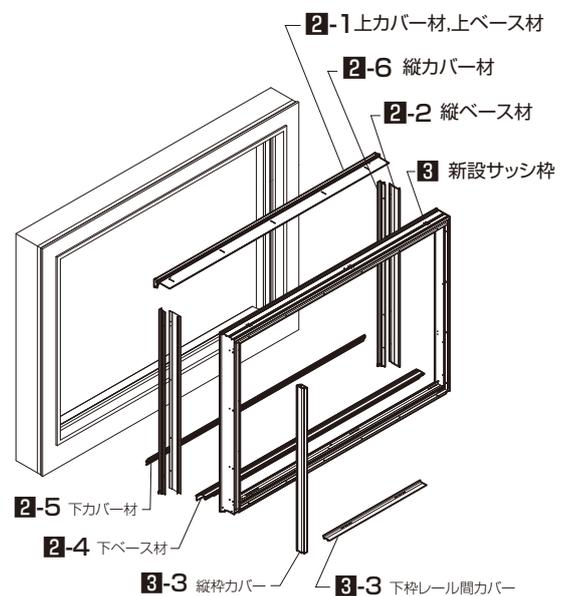
■新設サッシ枠の施工

1 既設サッシの準備	P.7
1-1 既設障子と部品の取外し	P.7
●無目・方立の場合	P.7
1-2 無目・方立の加工	P.8
1-3 既設サッシ枠への気密テープの張付け	P.8
1-4 コーナーシールの張付け	P.9
1-5 コーナー部のシーリングの処理	P.9
2 RC(ALC)納まり既設サッシ枠見込み70の場合	P.10
2-1 既設サッシ枠の室外見付け寸法確認、型材・パッキン切断	P.10
2-2 上アタッチ材の取付け	P.11
2-3 上ベース材・上カバー材の取付け(上アタッチ材あり)	P.12
2-4 上ベース材・上カバー材の取付け(上アタッチ材なし)	P.14
2-5 縦ベース材の取付け	P.16
2-6 下チリアングルの取付け	P.18
2-7 既設サッシ下枠の立ち上がり寸法の確認	P.19
2-8 下ベース材の取付け(補強金具ありの場合)	P.19
2-9 下ベース材の取付け(補強金具なしの場合)	P.21
2-10 下カバー材の取付け	P.22
2-11 縦カバー材の取付け	P.23
2 RC納まり既設サッシ枠見込み60の場合	P.25
2-1 上ベース材・上カバー材の取付け	P.25
2-2 縦ベース材の取付け	P.28
2-3 下チリアングルの取付け	P.30
2-4 下ベース材の取付け	P.31
2-5 下カバー材の取付け	P.33
2-6 縦カバー材の取付け	P.34
3 新設サッシ枠の取付け	P.35
3-1 新設サッシ枠の建込み	P.35
3-2 新設サッシ枠の仮固定	P.36
3-3 新設サッシ枠の取付け	P.37
3-4 気密テープの張付け	P.40
有償品の取付け	
4 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)	P.41
5 新設障子・網戸の建込み、建付け調整	P.44
5-1 障子・網戸の建込み、建付け調整	P.44

見込み70の場合



見込み60の場合

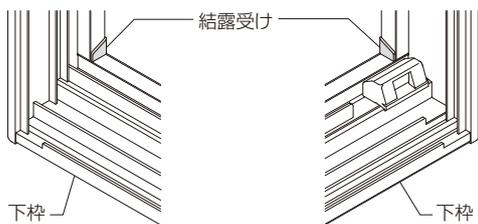
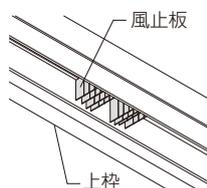
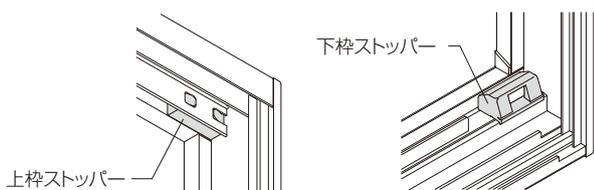
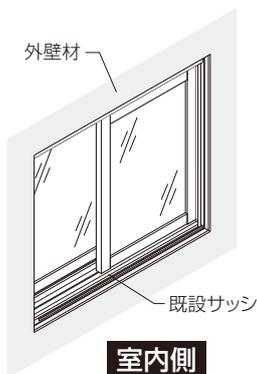


■既設サッシの準備

■1-1 既設障子と部品の取外し

■部品の取外し

- ①既設サッシの障子を取外します。
 - ②既設サッシ枠に付いている部品(上・下枠ストッパー、風止板、結露受けなど)を取外します。
- ※取り外す際に落下しないよう注意してください。



●無目・方立の場合

▲注意

既設枠の方立・無目のカットについて

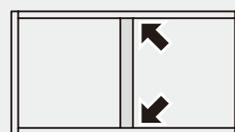


- 既設サッシ枠が別体連窓・別体段窓、なげし無目の場合、対応は出来ません。漏水の原因になります。



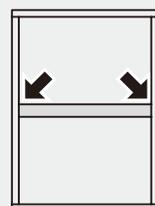
上下枠、縦枠が一本で通っているため対応可能

一体連窓



方立

一体段窓

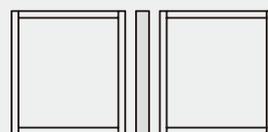


無目



方立・無目をカットすることにより、躯体漏水の原因になるため、対応不可

別体連窓



方立

別体段窓



無目

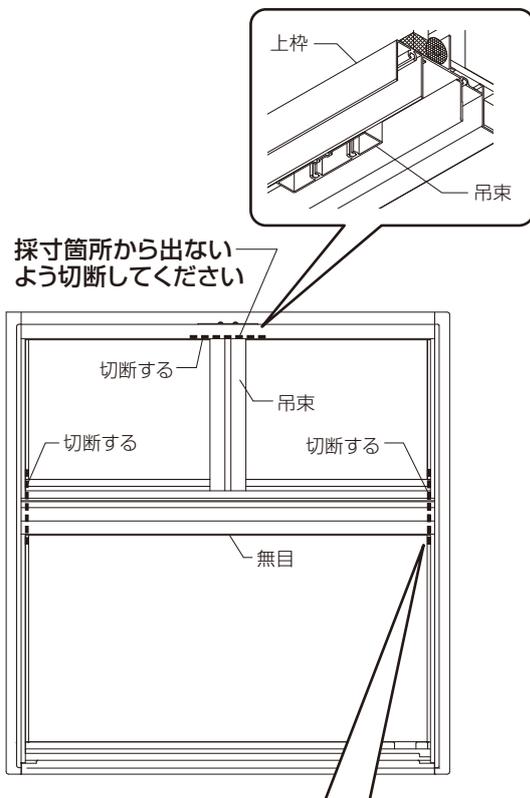
1-2 無目・方立の加工

▲ 注意

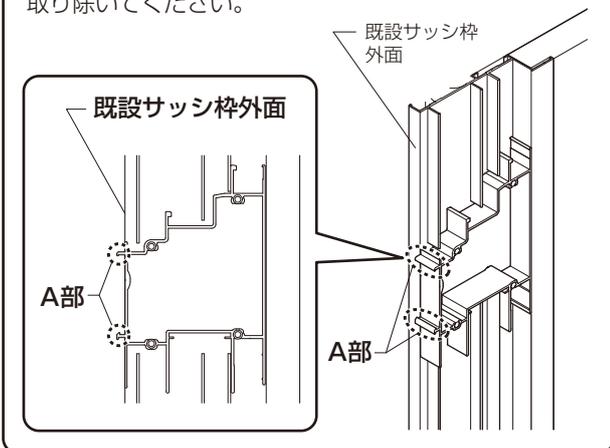


- 高所作業では安全確保や落下防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
部材が落下するおそれがあります

ランマ付(段窓)引違い窓の場合は、無目・吊束をレシプロソーなどで切断してください。
※切断時は切粉が出るので、サッシまわりを養生してください。
※ベース材取付け時に干渉しないよう、切り残り部は、採寸箇所から出ないように切断してください。



既設サッシ枠外面より出ている突起形状がある場合は、取り除いてください。

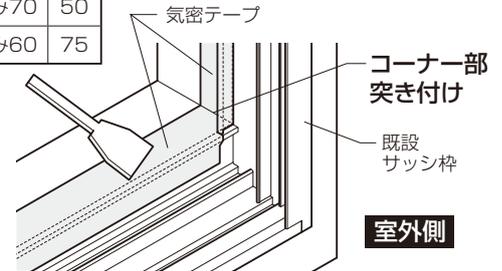


1-3 既設サッシ枠への気密テープの張付け

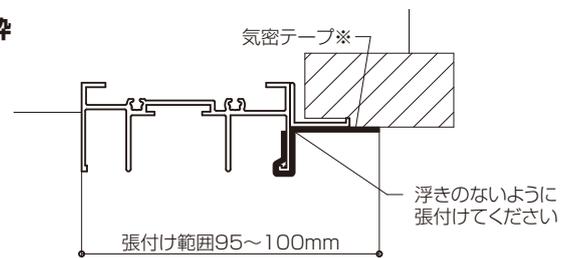
既設サッシ枠から窓枠に気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。

※納まりによって気密テープが窓枠まで張付け出来ない場合があります。

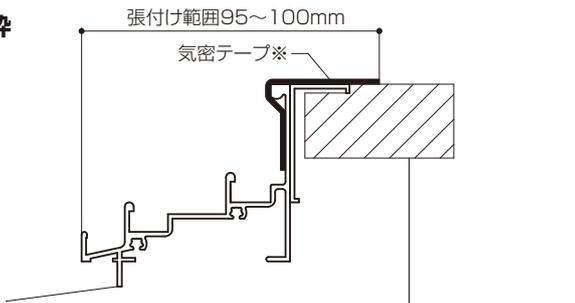
推奨気密テープ幅(mm)	見込み70	50
	見込み60	75



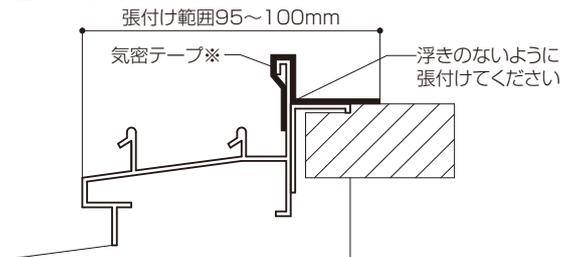
● 上枠



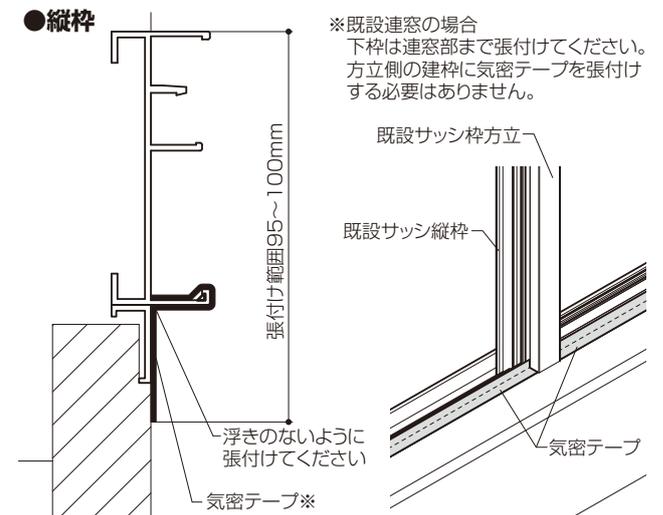
● 下枠



※ 窓枠と段差がある場合

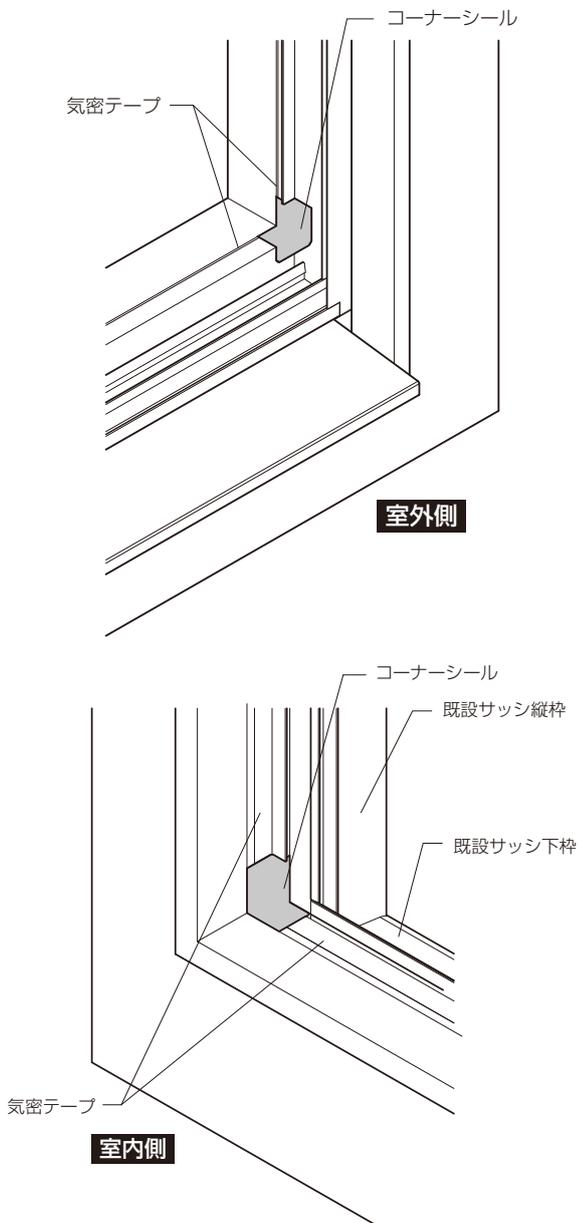


● 縦枠



1-4 コーナーシールの張付け

コーナー部の四隅にコーナーシールを、先に張った気密テープから室内側にはみ出さないように、室外側から室内側へ向かって張付けてください。



1-5 コーナー部のシーリング処理

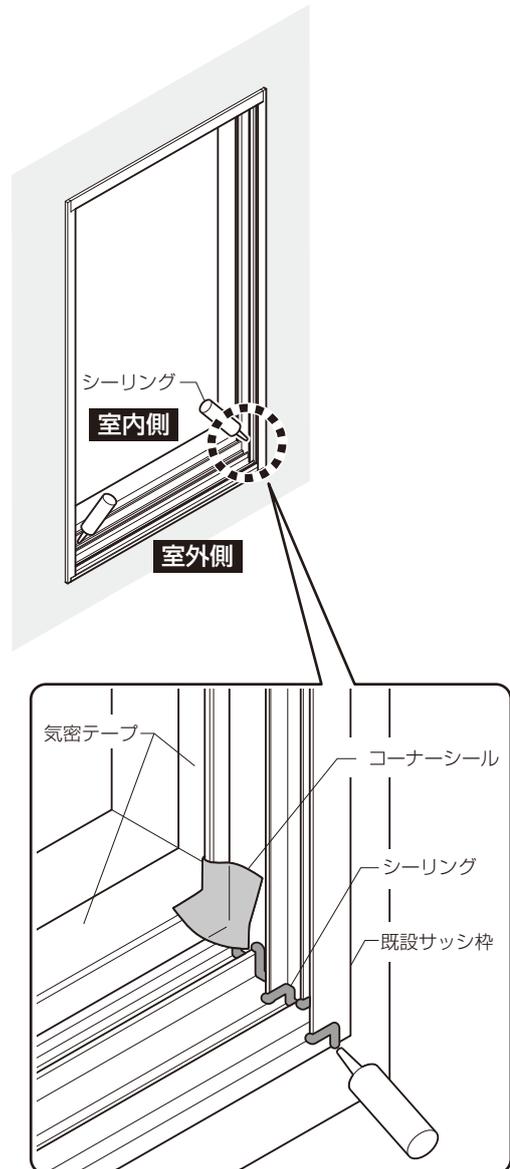
お願い

- シールの密着性を保つため、シーリング処理部は汚れ・油分などなきよう、拭き取り・清掃をしてください。

既設サッシ枠のコーキングシーラーが劣化している場合があるため、既設サッシ枠のコーナー部にシーリング処理してください。

※シーリング材専用のプライマーを使用してください。

※シーリングはコーナーシールの手前までとしてください。



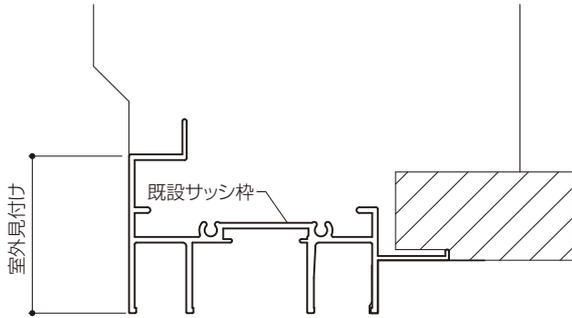
2 RC (ALC)納まり既設サッシ枠見込み70の場合(見込み60の場合はP.25へ進んでください)

2-1 既設サッシ枠の室外見付け寸法確認、型材・パッキン切断

非防火仕様RC納まりの場合は2-2へ進んでください。

■ALC納まりの場合

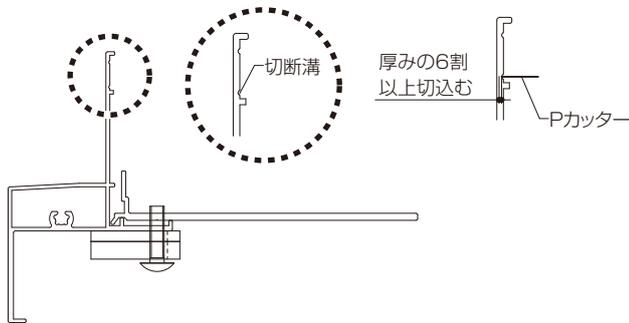
- ①既設サッシ枠の室外見付け寸法を確認してください。
室外見付け寸法<45mmの場合は②に進んでください。
室外見付け寸法 \geq 45mmの場合は2-2に進んでください。



- ②上カバー材を切断手順を参考に溝で切断してください。

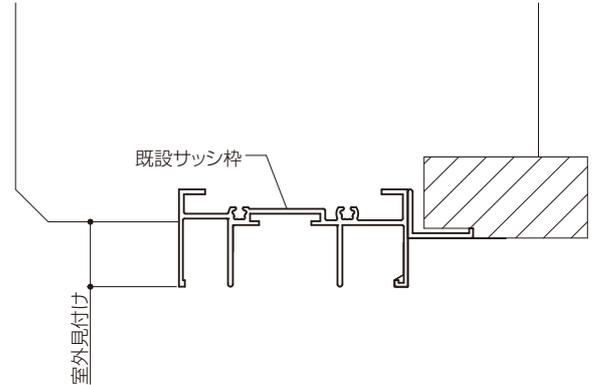
●切断手順

1. 裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
2. ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
3. 切断した面をバリ取りしてください。



■防火仕様RC納まりの場合

- ①既設サッシ枠の室外見付け寸法を確認してください。
11mm \leq 室外見付け寸法<22mmの場合は②に進んでください。
22mm \leq 室外見付け寸法 \leq 30mmの場合は2-2に進んでください。



- ②上カバー材のパッキン、上カバー材端部キャップの軟質部を切断溝で切断してください。
室外見付け寸法<13mm : 第1カット溝でカット
13mm \leq 室外見付け寸法<22mm: 第2カット溝でカット

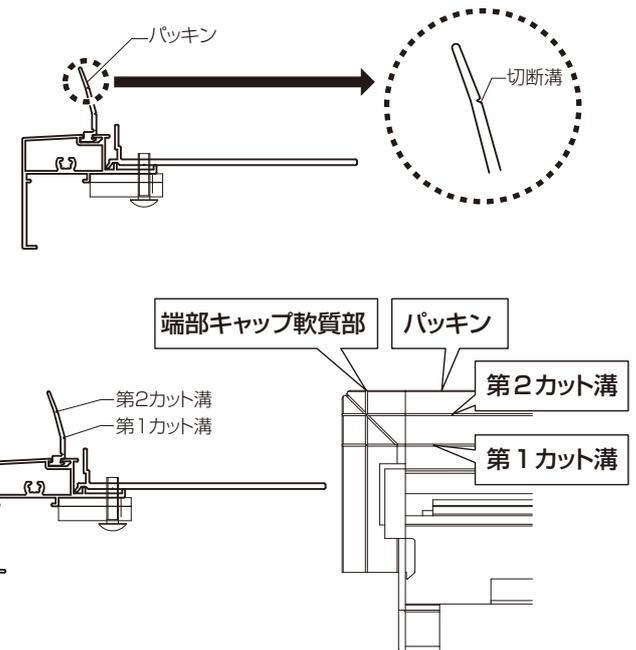
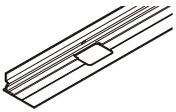


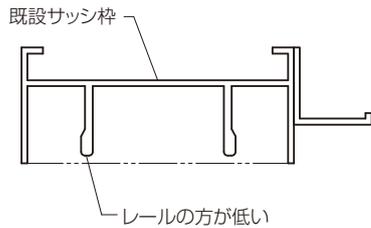
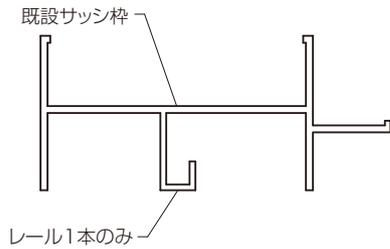
図-2 上タッチ材の取付け

上タッチ材	取付けねじ
	上タッチ材 取付けねじ
上タッチ材	皿バーリング ドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)

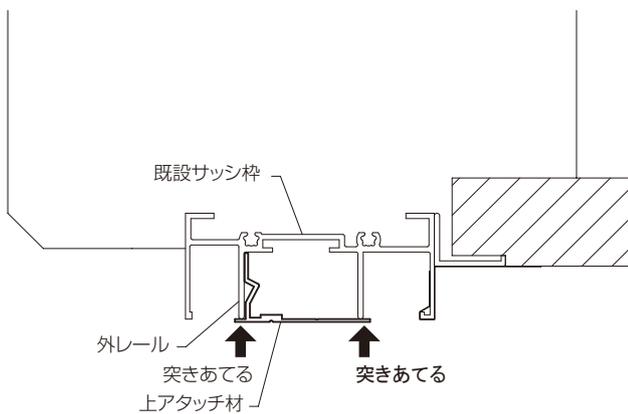
※レールが1本のみ、レールの方が低い場合

上タッチ材の取付けは不要です。

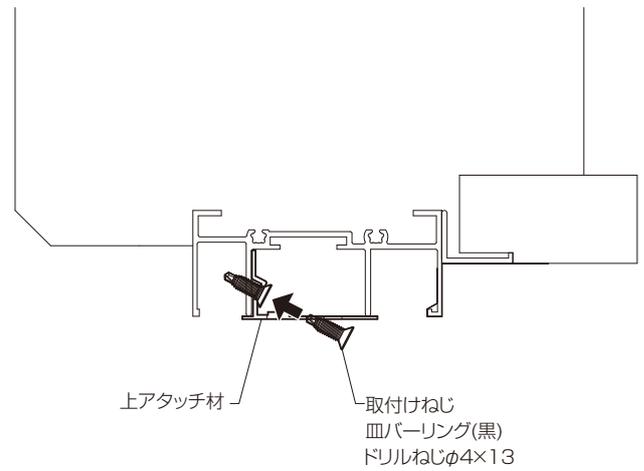
図-4 上ベース材・上カバー材の取付け(上タッチ材なし)に進んでください。



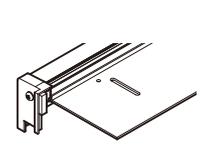
①上タッチ材のリケイ紙をはがして、長手方向で左右の位置を均等にし、既設サッシ枠の外レールに仮固定してください。



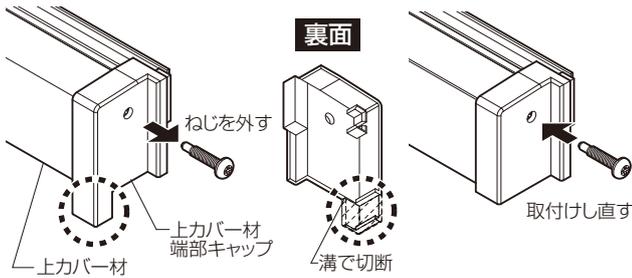
②仮固定後、ねじ止めしてください。



2-3 上ベース材・上カバー材の取付け(上アタッチ材あり)

上ベース材・上カバー材	取付けねじ	
	上ベース材・上カバー材 取付けねじ	上ベース材 取付けねじ
上ベース材・上カバー材	なべバーリング ドリルねじ φ4×16 (D8)	なべバーリング ドリルねじ φ4×40 (D8)

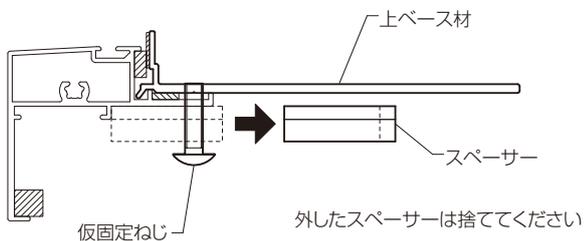
面格子を取付ける場合は上カバー材端部キャップを取外し、溝で切断して、取付けし直してください。



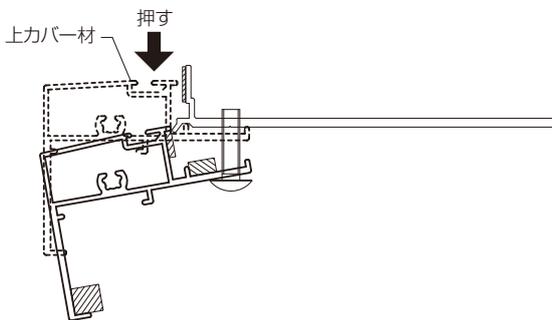
①上ベース材の両端と中央のねじをゆるめて、スペーサーを外してください。

CHECK!

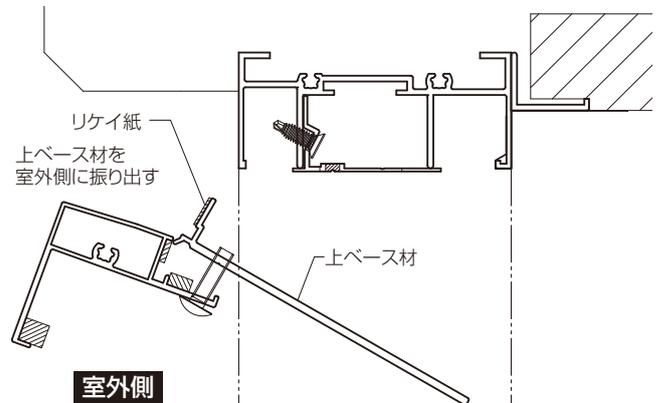
上カバー材が外れるため、ねじは完全に外さないでください。



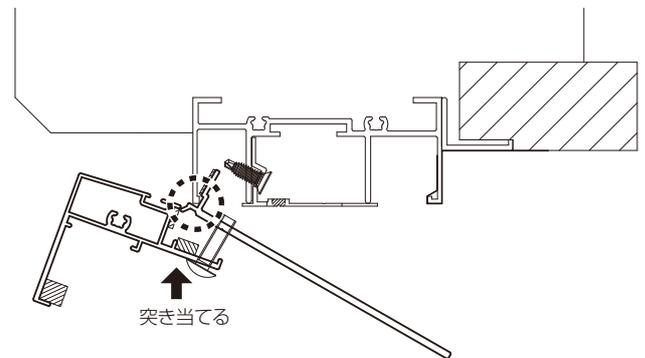
②上カバー材を押し下げて、上カバー材が垂れ下がった状態にしてください。



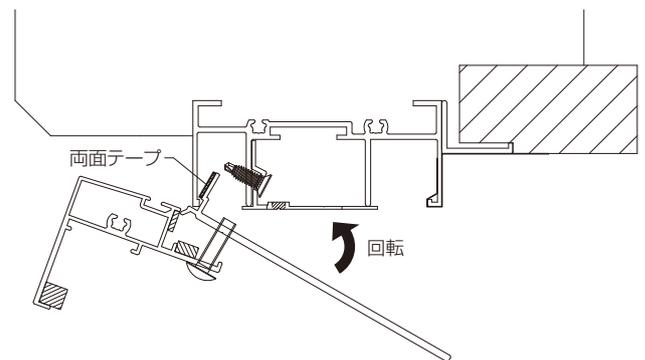
③上ベース材のリケイ紙をはがして、下図のように室外側に振り出してください。



④長手方向でおおよそ左右の位置を均等にし、上ベース材を傾けた状態で既設上枠の室外フィンにあててください。



⑤上ベース材の室内側を回転させて、既設上枠室外フィンに押しあて、両面テープを張付けてください。



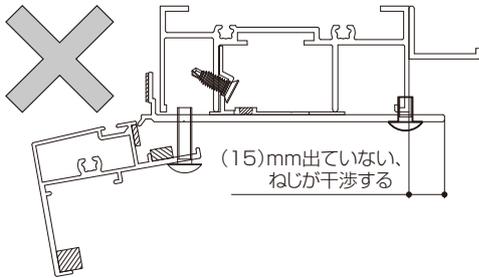
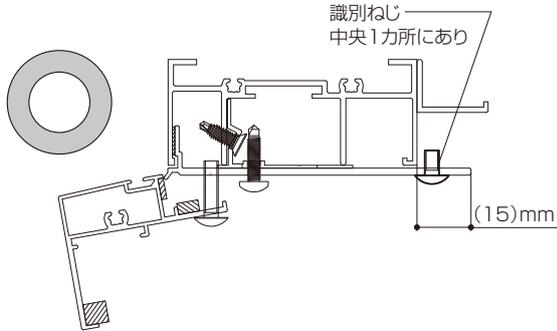
■防火RC仕様の場合に上カバー材のパッキンと外壁との干渉が大きく取付けにくい場合は上ベース材と上カバー材を分離して、それぞれ取付けしてください。

※分離した場合は部材の落下などに十分注意して取付けしてください。

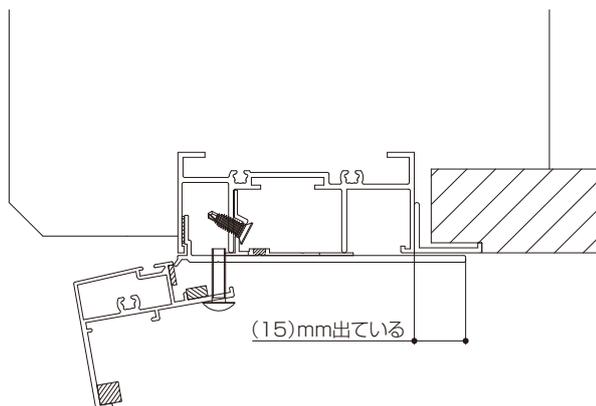
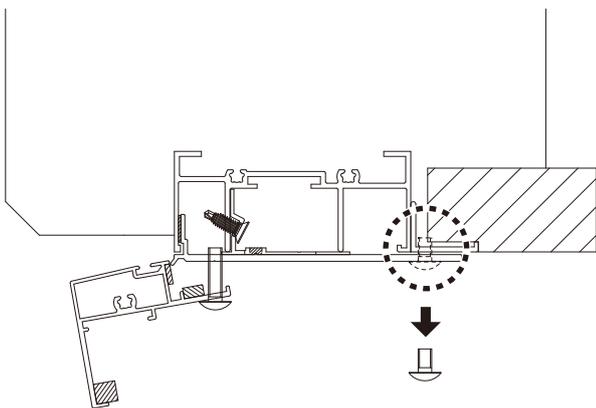
図-3 上ベース材・上カバー材の取付け(上アタッチ材あり)(つづき)

⑥上ベース材が既設サッシ枠から15mm程度出ている事、または識別ねじが見えている事を確認し、上アタッチ材にねじ止めしてください。

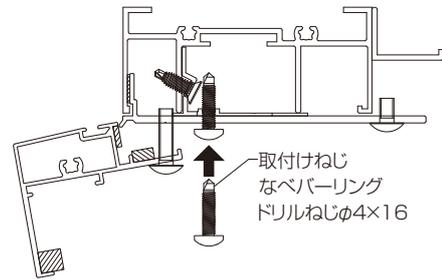
※上ベース材の室内側中央に識別ねじが取付いています。



識別ねじが窓枠または既設サッシ枠アングルに干渉する場合は、取外して、上ベース材が既設枠見付け面より15mm程度出ていることを確認してください。

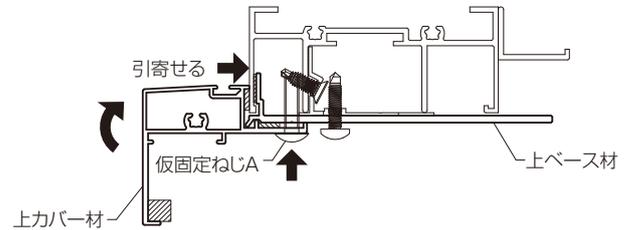


⑦上ベース材を上アタッチ材にねじ止めしてください。



⑧上カバー材を既設サッシ枠に押しあて、室内側に引寄せて、両端と中央の仮固定ねじAを締めてください。

仮固定ねじA：両端・中央



⑨上カバー材を既設サッシ枠に押しあて、室内側に引寄せて、上ベース材にねじ止めしてください。

B：中間

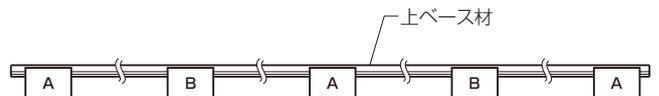
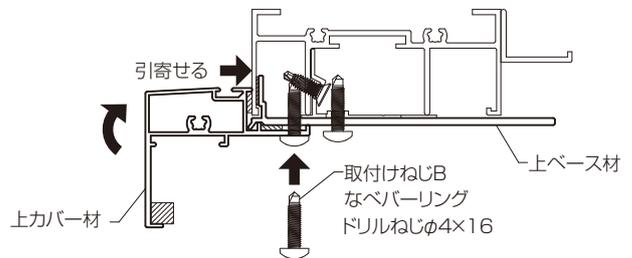
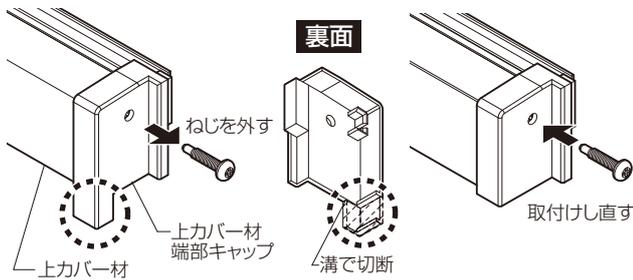


図-4 上ベース材・上カバー材の取付け(上アタッチ材なし)

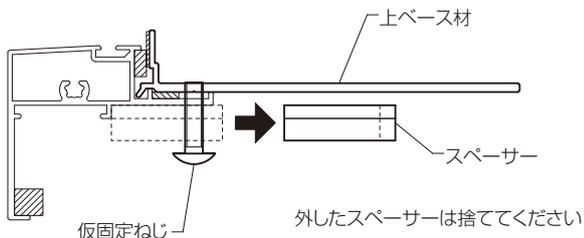
面格子を取付ける場合は上カバー材端部キャップを取外して、溝で切断して、取付けし直してください。



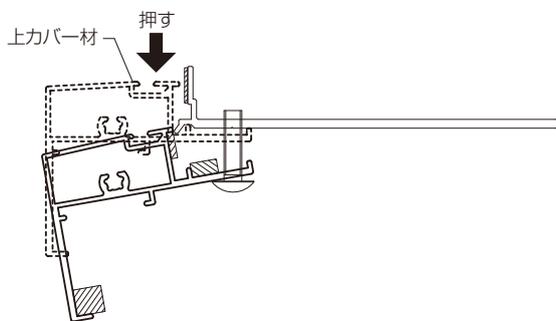
①上ベース材の両端と中央のねじをゆるめて、スペーサーを外してください。

CHECK!

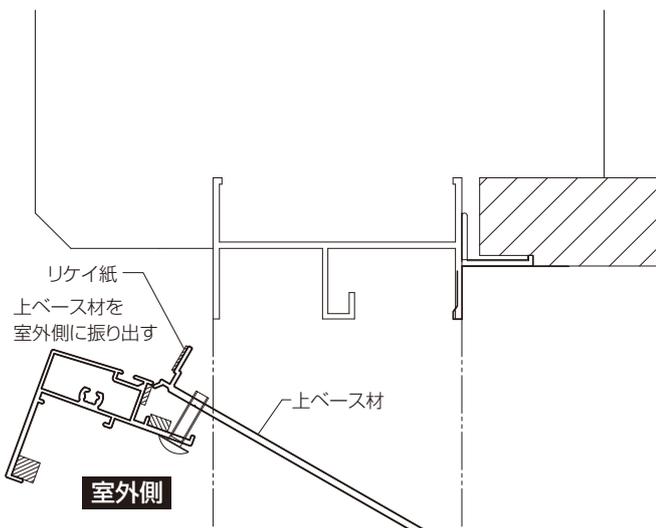
上カバー材が外れるため、ねじは完全に外さないでください。



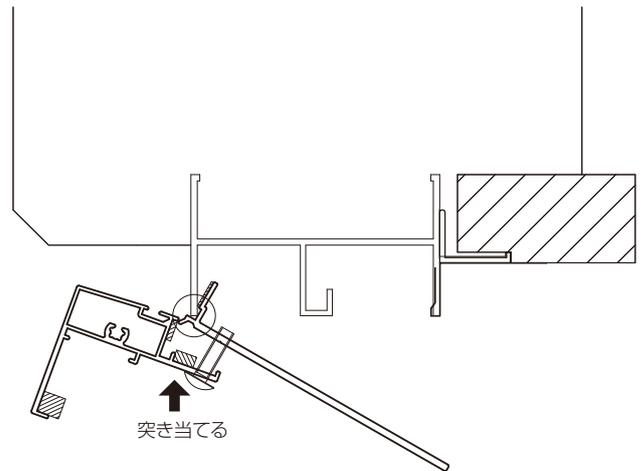
②上カバー材を押し下げて、上カバー材が垂れ下がった状態にしてください。



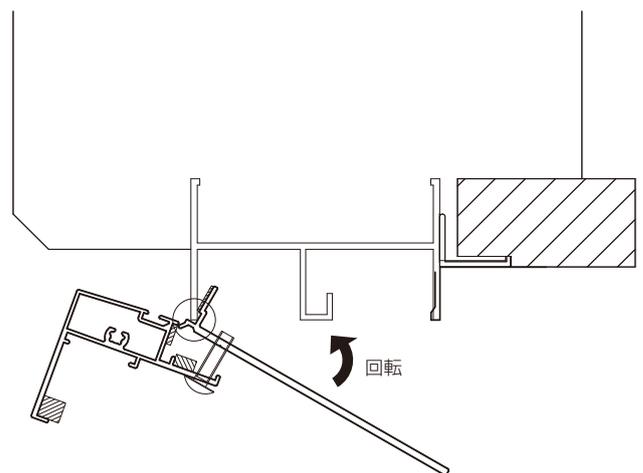
③上ベース材のリケイ紙をはがして、下図のように室外側に振り出してください。



④長手方向でおおよそ左右の位置を均等にし、上ベース材を傾けた状態で既設上枠の室外フィンにあててください。



⑤上ベース材の室内側を回転させて、既設上枠室外フィンに押しあて、両面テープを張付けてください。

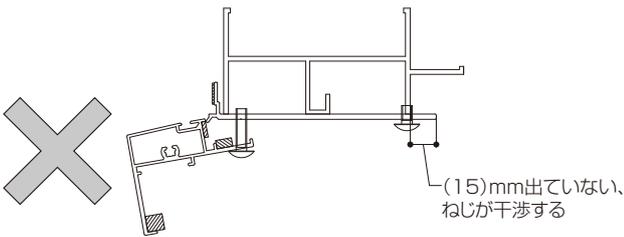
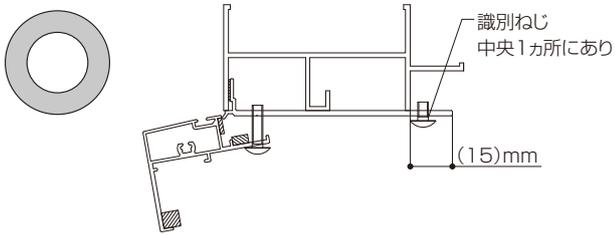


防火RC仕様の場合に上カバー材のパッキンと外壁との干渉が大きく取付けしにくい場合は上ベース材と上カバー材を分離して、それぞれ取付けしてください。

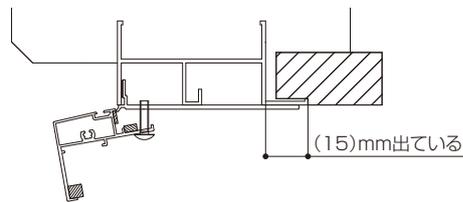
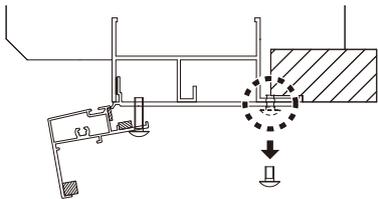
※分離した場合は部材の落下などに十分注意して取付けしてください。

図-4 上ベース材・上カバー材の取付け(上アタッチ材なし)(つづき)

- ⑥上ベース材が既設サッシ枠から15mm程度出ている事、
または識別ねじが見えている事を確認してください。
※上ベース材の室内側中央に識別ねじが取付いています。

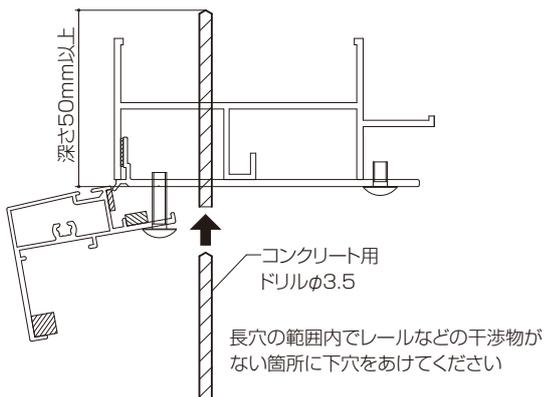


識別ねじが窓枠または既設サッシ枠アングルに干渉する場合は、取外して、上ベース材が既設枠見付け面より15mm程度出ていることを確認してください。



- ⑦コンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけて(ハンマードリル推奨)、ねじ止めしてください。

CHECK! 深さは50mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。

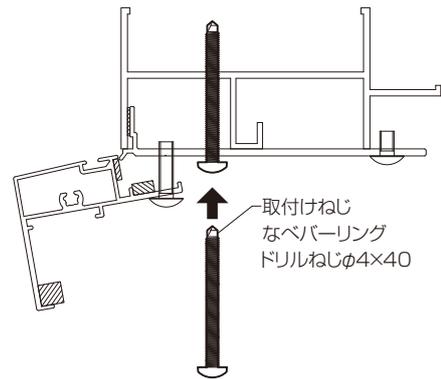


- ⑧上ベース材をねじ止めしてください。

CHECK!

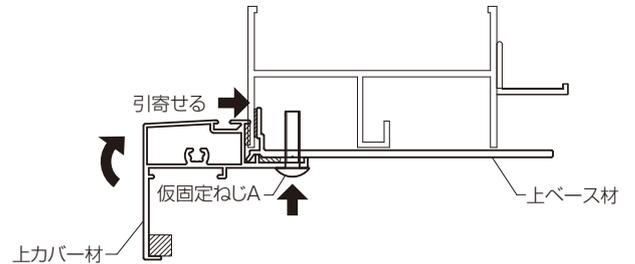
ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます。

- ・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。



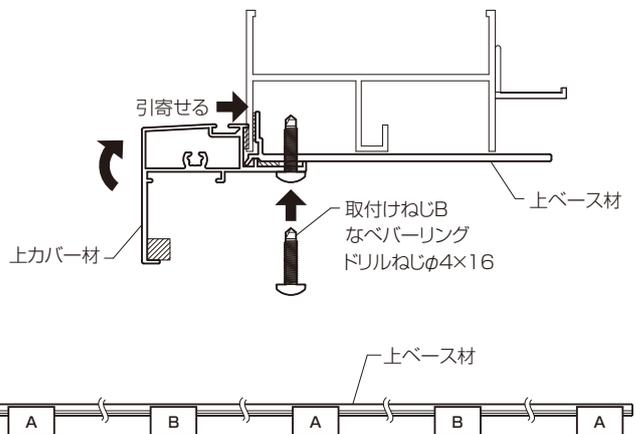
- ⑨上カバー材を既設サッシ枠に押しあて、室内側に引寄せて、両端と中央の仮固定ねじAを締めてください。

仮固定ねじA：両端・中央



- ⑩上カバー材を既設サッシ枠に押しあて、室内側に引寄せて、上ベース材にねじ止めしてください。

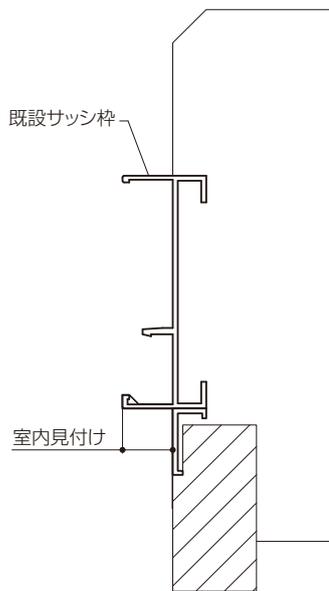
B：中間



2-5 縦ベース材の取付け

縦ベース材	取付けねじ	
		
縦ベース材	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平バーリングドリルねじ φ4×31 (D7)

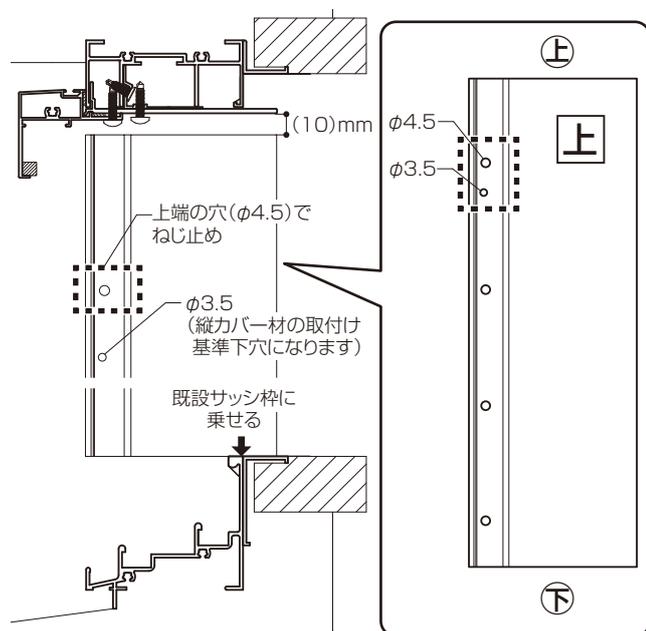
- ①既設サッシ枠の室内見付け寸法を確認してください。
室内見付け寸法 ≥ 10 mmの場合はP.16の②に進んでください。
室内見付け寸法 < 10 mmの場合はP.17の②に進んでください。



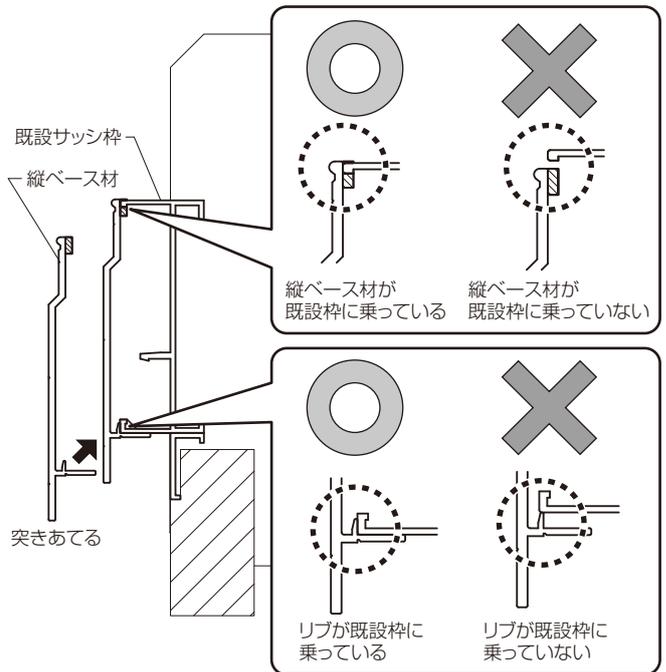
■既設サッシ枠の室内見付け寸法 ≥ 10 mmの場合

- ②縦ベース材を既設サッシ下枠に乗せてください。

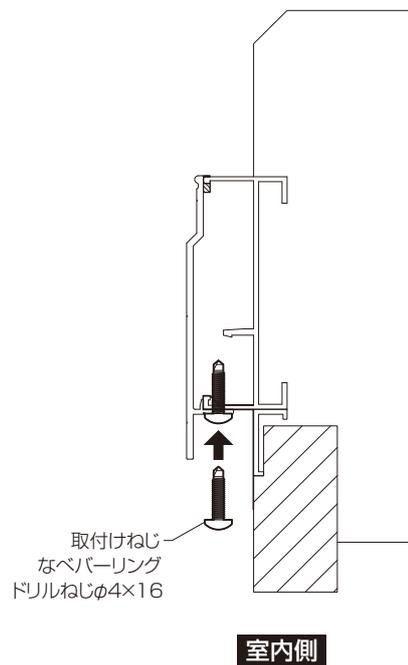
CHECK! 上端には取付け穴と縦カバー材の位置決め下穴があいています。上端の穴をねじ止めしてください。



- ③縦ベース材を既設サッシ縦枠に当ててください



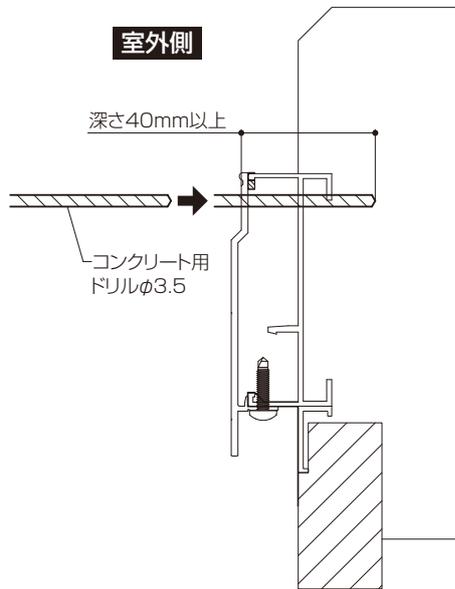
- ④縦ベース材の室内側をねじ止めしてください。



2-5 縦ベース材の取付け(つづき)

⑤室外側の取付け穴からコンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください(ハンマードリル推奨)。

CHECK! 深さは40mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。

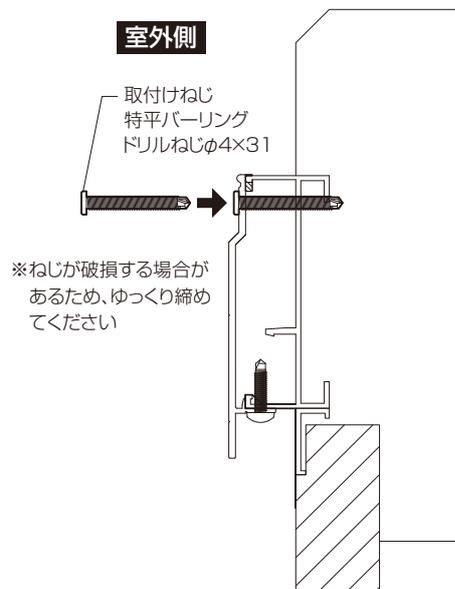


⑥縦ベース材の室外側をねじ止めしてください。

ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます

CHECK!

- ・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。

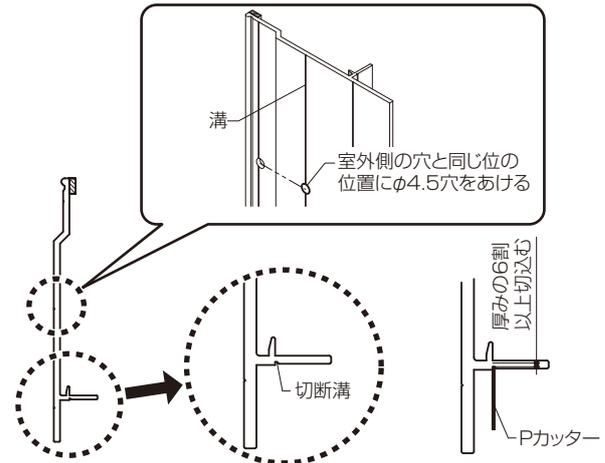


■室内見付け寸法<10mmの場合

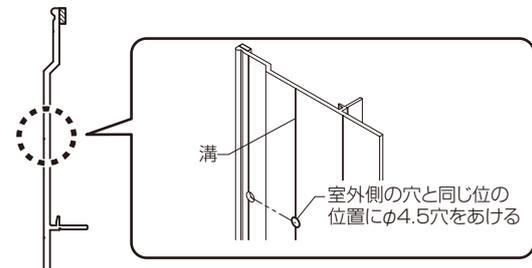
②縦ベース材を切断手順を参考に溝で切断してください。

●切断手順

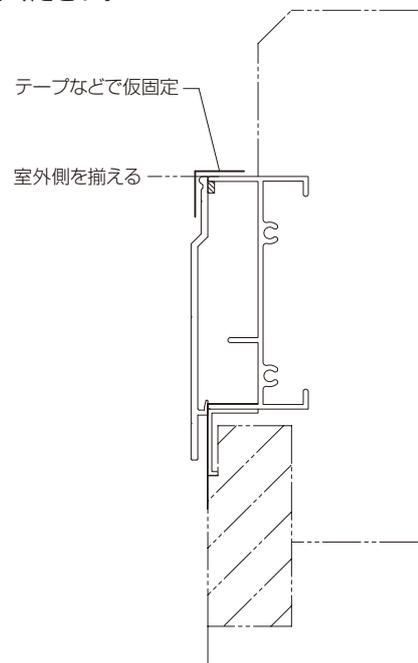
1. 裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
2. ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
3. 切断した面をバリ取りしてください。



③縦ベース材の室内側に取付け用φ4.5穴をあけてください。



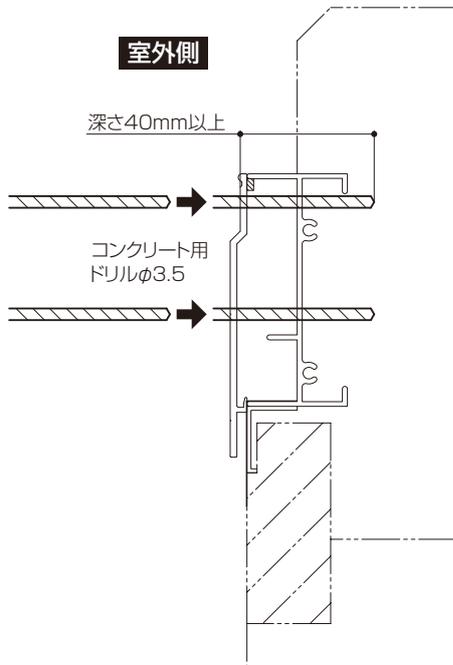
④縦ベース材と既設サッシ枠室外側を揃えてテープなどで仮固定してください。



2-5 縦ベース材の取付け(つづき)

⑤室外側の取付け穴からコンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください(ハンマードリル推奨)。

CHECK! 深さは40mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。

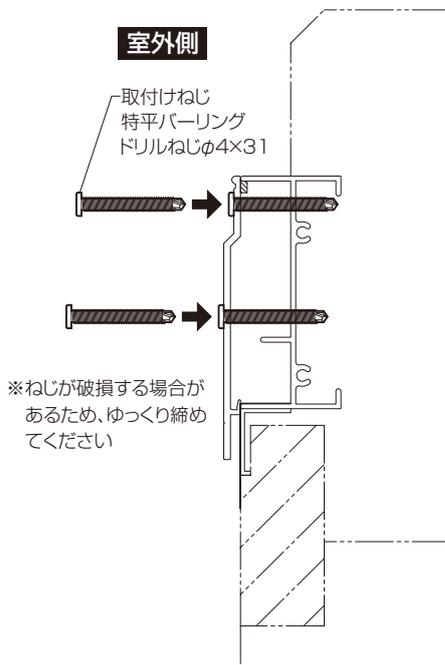


⑥縦ベース材の室外側をねじ止めしてください。

CHECK!

ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます。

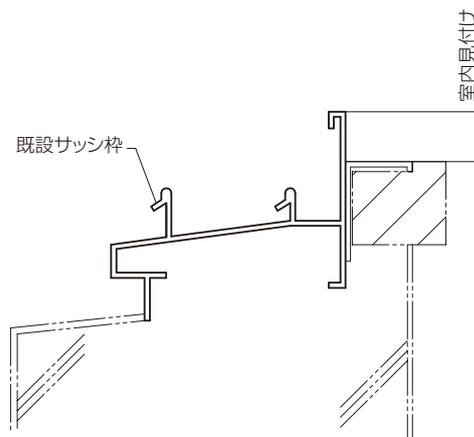
- ・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。



2-6 下チリアングルの取付け

下チリ用アングル	取付けねじ
	下チリ用アングル 取付けねじ 
下チリ用アングル	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13 (D7)

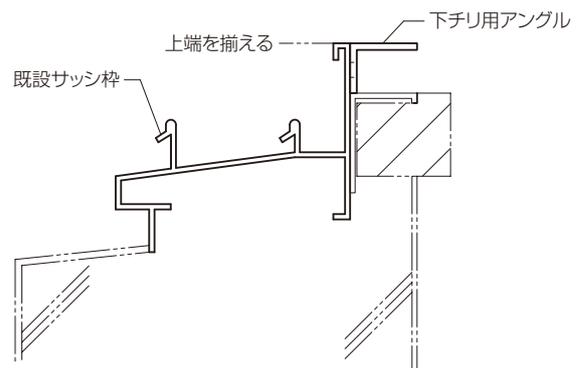
①既設サッシ下枠の室内見付け寸法を確認してください。室内見付け寸法 ≥ 15 mmの場合は②に進んでください。0mm $<$ 室内見付け寸法 < 15 mmの場合は2-7に進んでください。室内見付け寸法 ≤ 0 mmの場合は2-7に進んでください。



②下チリ用アングルのリケイ紙をはがして、長手方向でおおよそ左右を均等にし、既設サッシ枠と上端を揃えるように、既設サッシ枠の室内側フィンに仮固定してください。

CHECK!

下チリアングルの上端と既設サッシ枠の上端を揃えてください



③下チリアングルをねじ止めしてください。

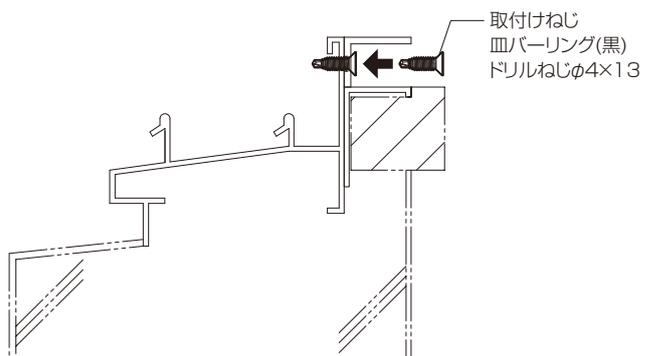


図-7 既設サッシ下枠の立ち上がり寸法の確認

- ①既設サッシ下枠の立ち上がり寸法を確認してください。
 下枠の立ち上がり $\geq 52\text{mm}$ の場合は**図-8**に進んでください。
 下枠の立ち上がり $< 52\text{mm}$ の場合は**図-9**に進んでください。

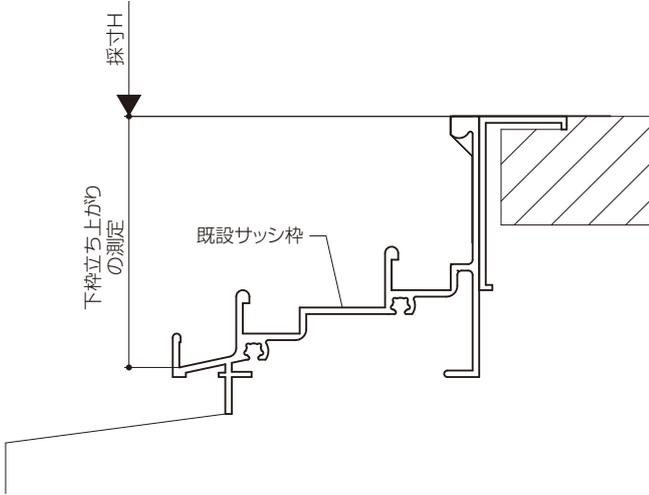
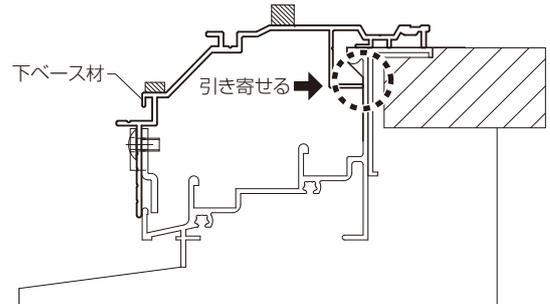


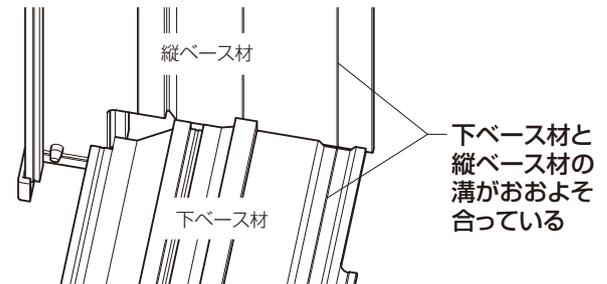
図-8 下ベース材の取付け(補強金具ありの場合)

下ベース材	取付けねじ	
	下ベース材 取付けねじ 	下ベース材 取付けねじ 
下ベース材	なべパーリングドリルねじ $\phi 4 \times 16$ (D8)	特平パーリングドリルねじ $\phi 4 \times 31$ (D7)

- ①下ベース材をおおよそ左右を均等に設置し、既設サッシ枠に当たるまで室内側に引き寄せてください。



CHECK! 見込み位置が合っているかは、下ベース材と縦ベース材の溝で確認することができます。



- ②補強金具を下げて水平を確認しながらねじ止めしてください。

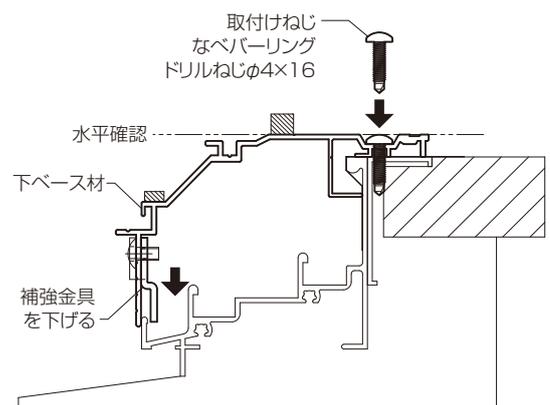
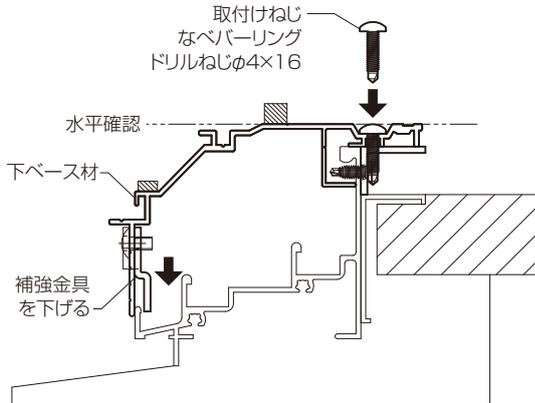


図-8 下ベース材の取付け(補強金具ありの場合)(つづき)

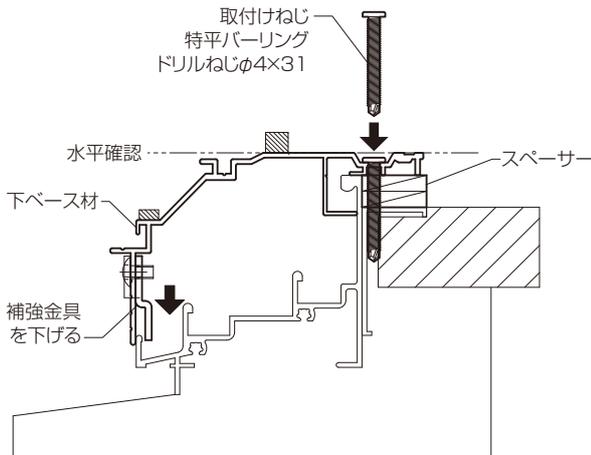
■下チリアングルを取付けた場合



P.18で測定した既設下枠の室内見付け寸法が0mm<室内見付け寸法<15mmの場合は以下のように下ベース材をねじ止めしてください。

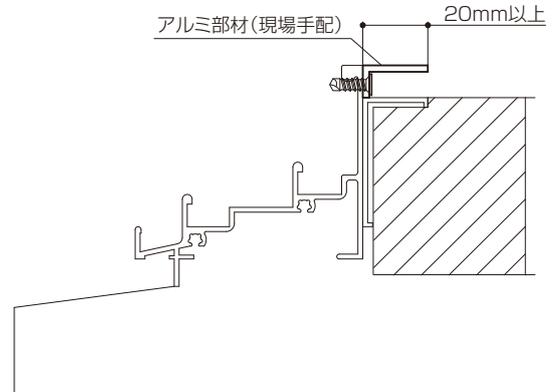
■非防火の場合

■既設上端と合わせるようにスペーサーを入れて、ドリルねじφ4×31でねじ止めしてください。

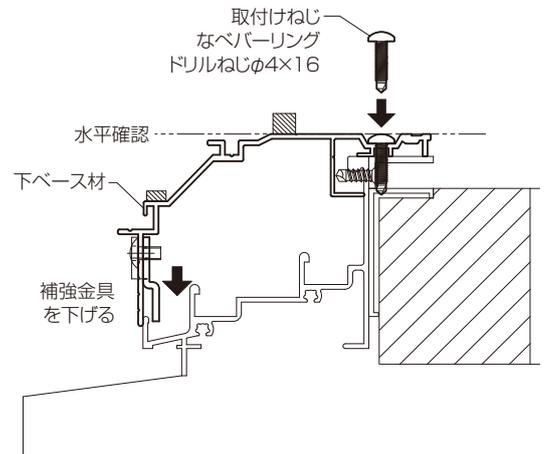


■防火の場合

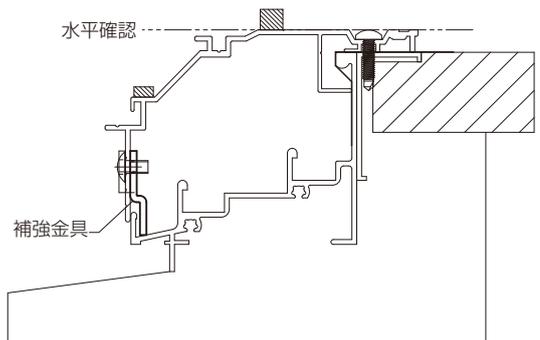
1.見込み寸法が20mm以上確保できるアルミ部材(現場手配)を既設枠に取付けしてください。



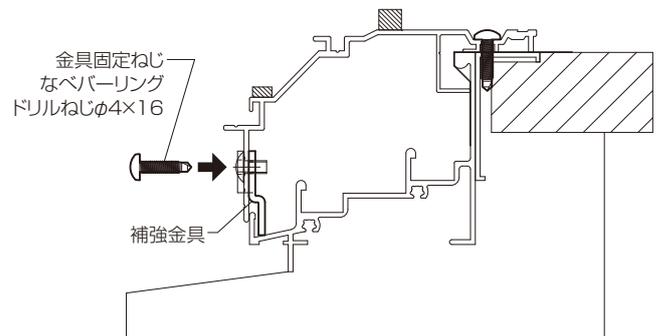
2.補強金具を下げて水平を確認しながらねじ止めしてください。



③下ベース材が水平になるように補強金具を既設サッシ下枠に当てて調整してください。

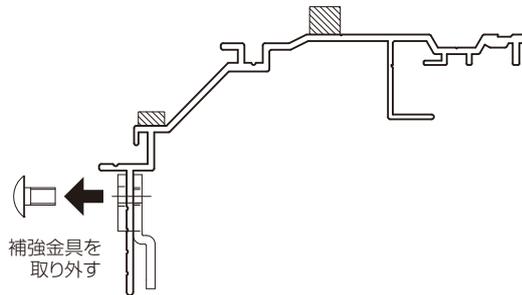


④ねじ止めしてください。

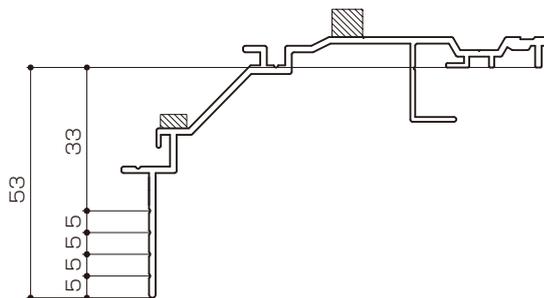


2-9 下ベース材の取付け(補強金具なしの場合)

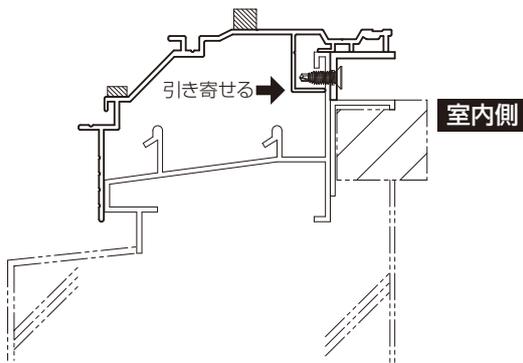
①補強金具を外してください。



②外壁などに干渉する場合は納まりに応じて切断してください。



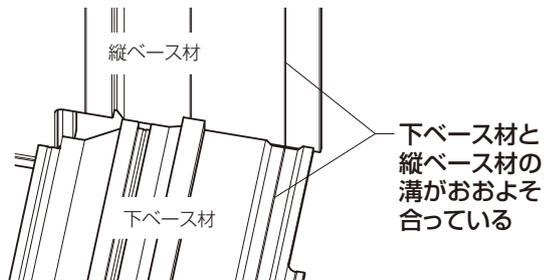
③下ベース材をおおよそ左右を均等に設置し、既設サッシ枠に当たるまで室内側に引き寄せてください。



CHECK!

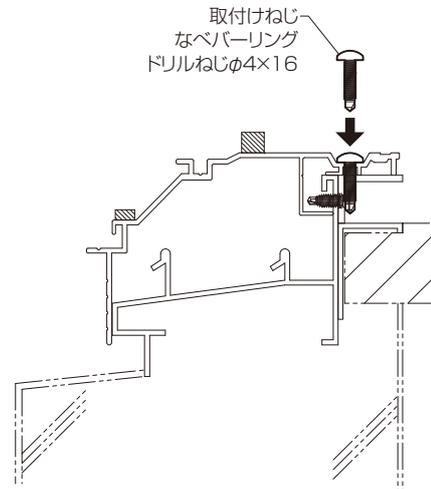


見込み位置が合っているかは、下ベース材と縦ベース材の溝で確認することができます。

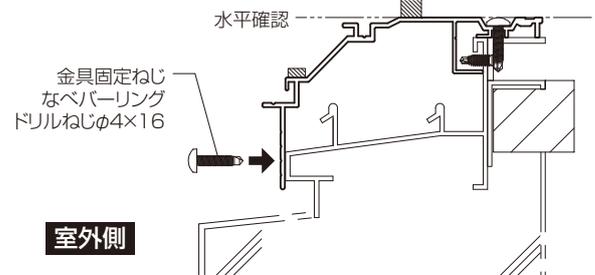
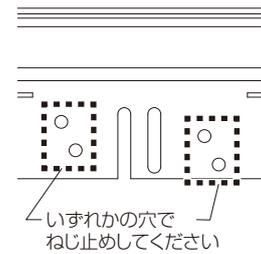


④水平を確認しながらねじ止めしてください。

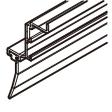
※水平が出ていない場合は、スペーサーを入れながらねじ止めしてください。



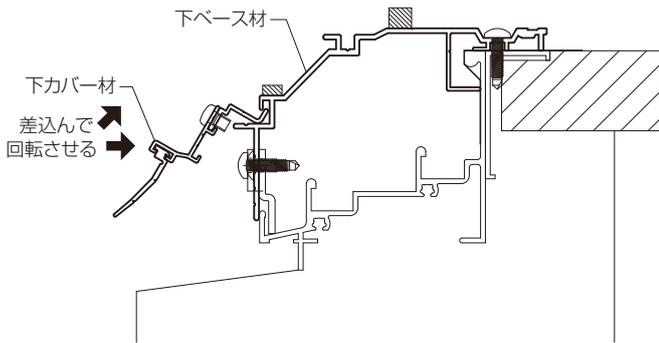
⑤下ベース材の水平を確認しながら下ベース材室外側のいずれかの取付け穴からねじ止めしてください。



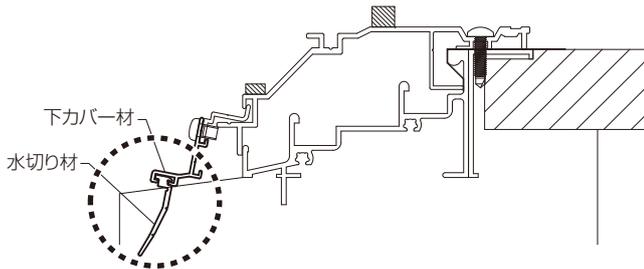
2-10 下カバー材の取付け

下カバー材	取付けねじ
	下：縦カバー材 取付けねじ
下カバー材	なべパーリングドリルねじ φ4×16 (D8)

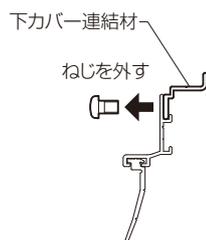
①下カバー材を下ベース材に差込み回転させます。



■下カバー材が外壁などに干渉する、
または水切り材のあたりがきつい場合

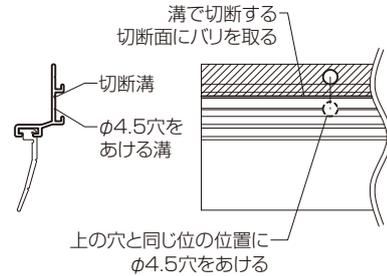


1. 下カバー材のねじを外して、下カバー連結材を外してください。



2. 溝で切断しバリ取りをしてください。バリ取り後φ4.5穴をあけてください。

※上の穴と同じくらいの位置にあけてください。



3. 取付けし直してください。

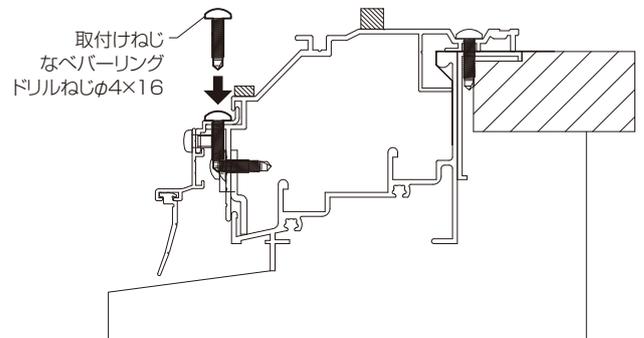


②下ベース材に下カバー材をねじ止めしてください。

CHECK!



基準の下穴が内観左にあいています。

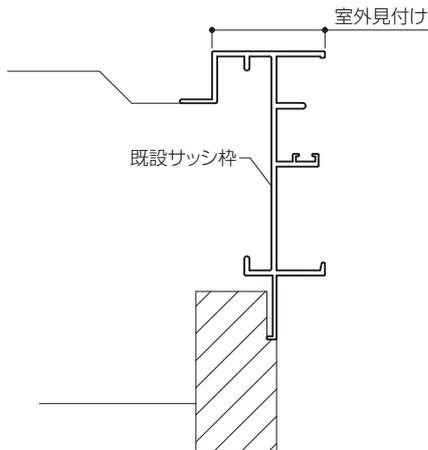


2-11 縦カバー材の取付け

縦カバー材	取付けねじ
	下：縦カバー材 取付けねじ
縦カバー材	 なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)

■ALC納まりの場合

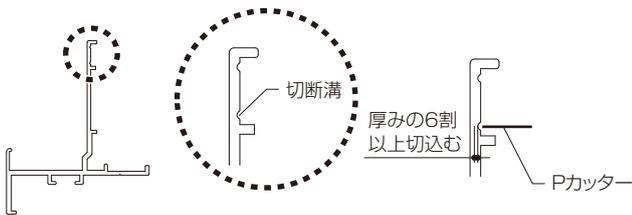
- ①既設サッシ枠の室外見付け寸法を確認してください。
 室外見付け寸法<35mmの場合は②に進んでください。
 室外見付け寸法≥35mmの場合は③に進んでください。



- ②縦カバー材を切断手順を参考に溝で切断してください。

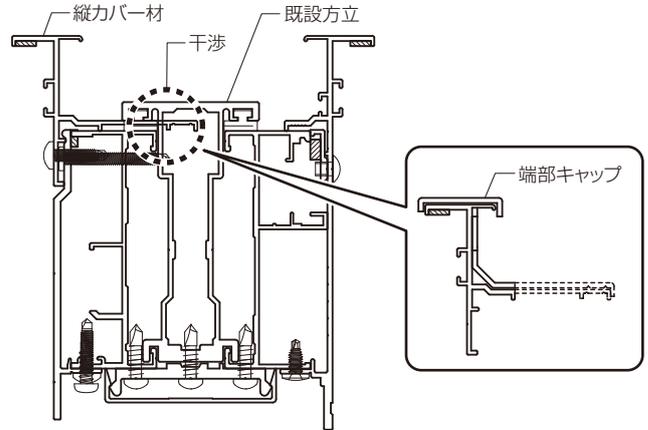
●切断手順

- 裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
 ※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
- ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- 切断した面をバリ取りしてください。

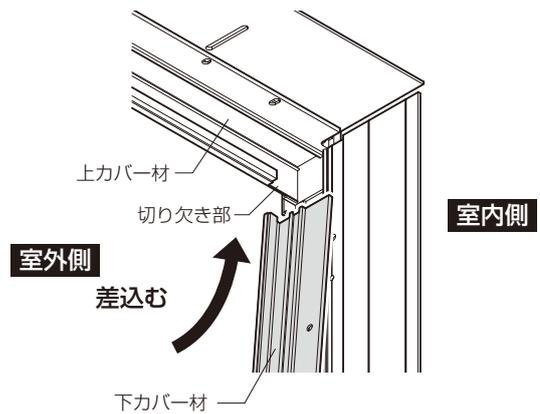


■ALC納まりの場合(連窓部)

連窓側の縦カバー材、端部キャップについて干渉部を切断してください。



- ③縦カバー材を室外側から上カバー材端部の切り欠きに差込んでください。



- ④縦カバー材を下に押し下げ、縦ベース材上方の基準下穴と取付け穴を合わせるようにしてください。

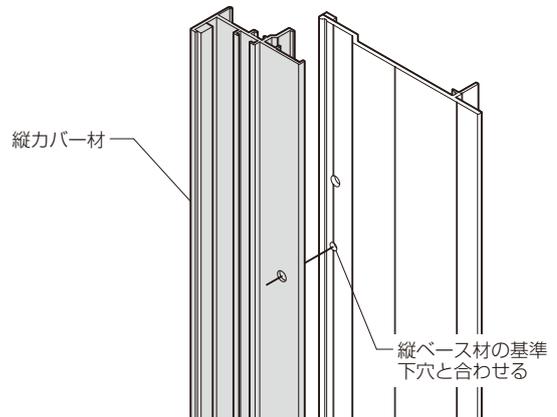
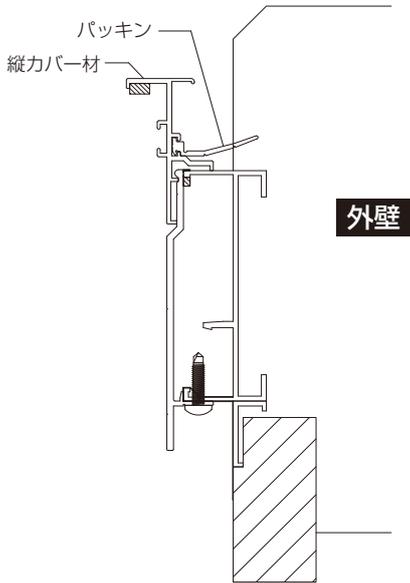
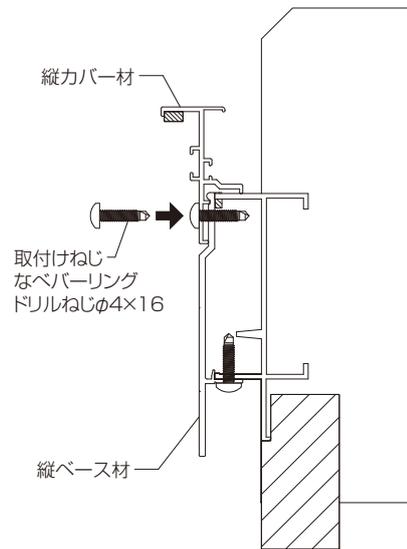


図-11 縦カバー材の取付け(つづき)

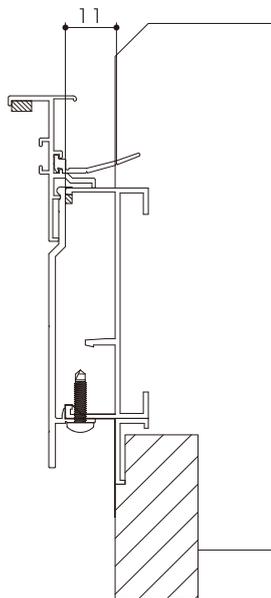
※防火RC仕様の場合に縦カバー材のパッキンと外壁との干渉が大きく取付けしにくい場合はパッキンをカットしてください。



⑤縦カバー材を縦ベース材にねじ止めしてください。
※取付け穴と基準の下穴・溝が合うように止めてください。

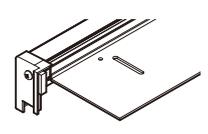


CHECK! パッキンをカットする際は既設サッシ枠がパッキンで必ず隠れることを確認してください。

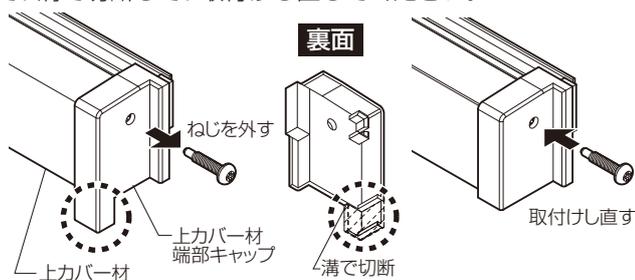


RC納まり既設サッシ枠見込み60の場合

2-1 上ベース材・上カバー材の取付け

上ベース材・上カバー材	取付けねじ	
	上ベース材 取付けねじ	上カバー材 取付けねじ
上ベース材・上カバー材	なべベアリングドリルねじ φ4×40 (D8)	なべベアリングドリルねじ φ4×16 (D8)

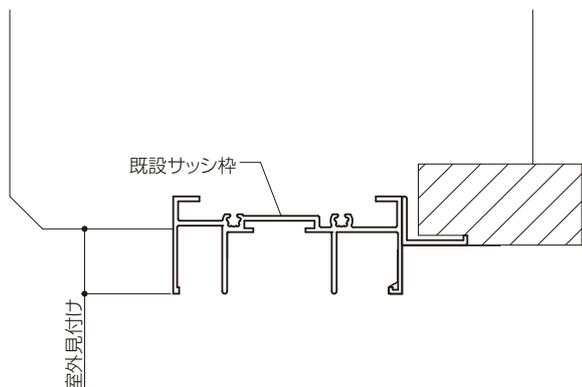
面格子を取付ける場合は上カバー材端部キャップを取外して、溝で切断して、取付けし直してください。



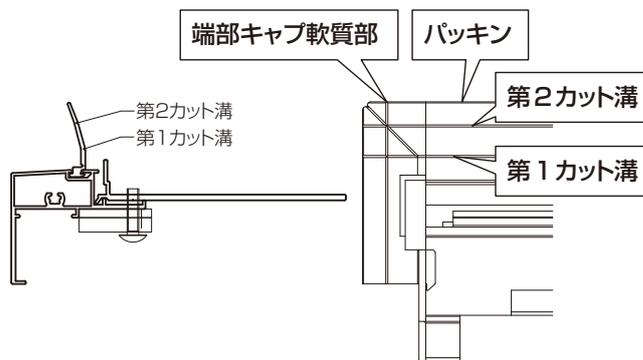
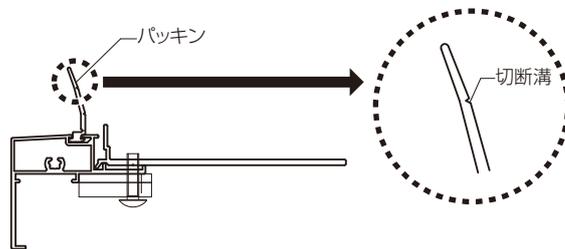
非防火仕様RC納まりの場合は③へ進んでください。

■防火仕様RC納まりの場合

- 既設サッシ枠の室外見付け寸法を確認してください。
 $11\text{mm} \leq \text{室外見付け寸法} < 22\text{mm}$ の場合は②に進んでください。
 $22\text{mm} \leq \text{室外見付け寸法} \leq 30\text{mm}$ の場合は③に進んでください。

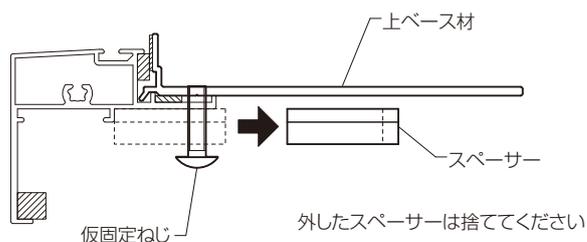


- 上カバー材のパッキン、上カバー材端部キャップの軟質部を切断溝で切断してください。
 $\text{室外見付け寸法} < 13\text{mm}$: 第1カット溝でカット
 $13\text{mm} \leq \text{室外見付け寸法} < 22\text{mm}$: 第2カット溝でカット

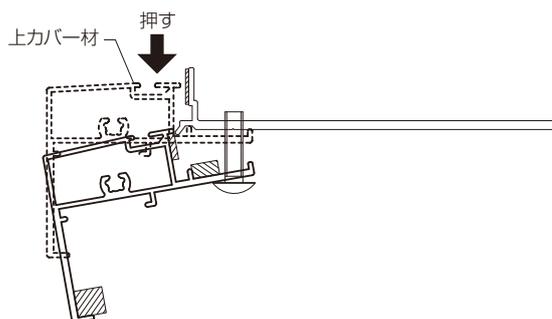


- 上ベース材の両端と中央のねじをゆるめて、スペーサーを外してください。

CHECK! 上カバー材が外れるため、ねじは完全に外さないでください。

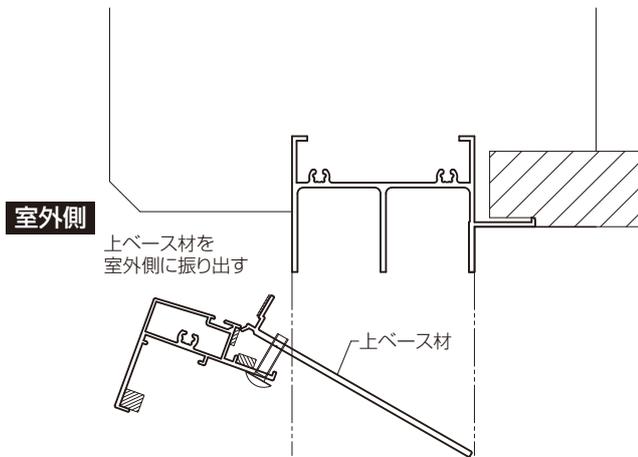


- 上カバー材を押し下げて、上カバー材が垂れ下がった状態にしてください。

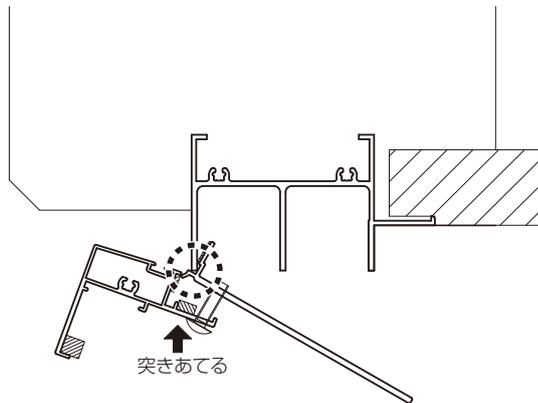


2-1 上ベース材・上カバー材の取付け(つづき)

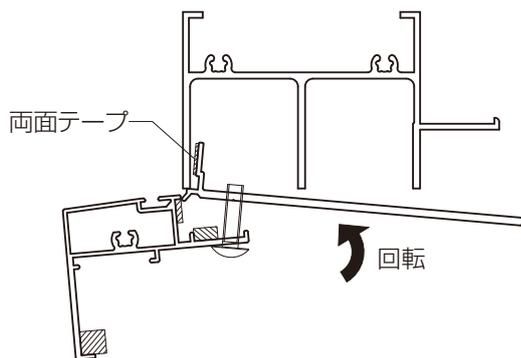
⑤上ベース材のリケイ紙をはがして、下図のように室外側に振り出してください。



⑥長手方向でおおよそ左右の位置を均等にし、上ベース材を傾けた状態で既設上枠の室外フィンにあててください。



⑦上ベース材の室内側を回転させて、既設上枠室外フィンに押しあて、両面テープを張付けてください。

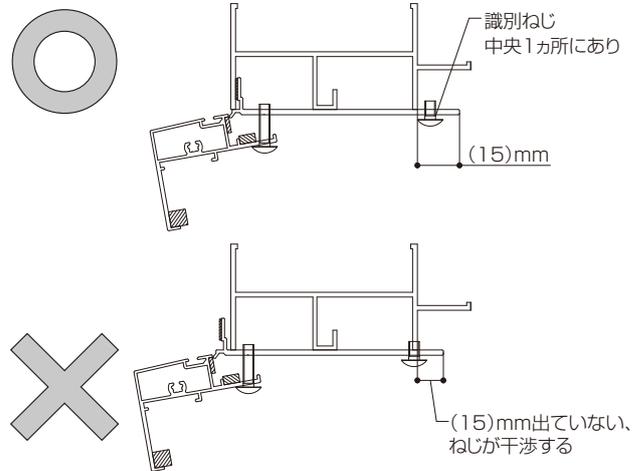


■防火RC仕様の場合に上カバー材のパッキンと外壁との干渉が大きく取付けにくい場合は上ベース材と上カバー材を分離して、それぞれ取付けしてください。

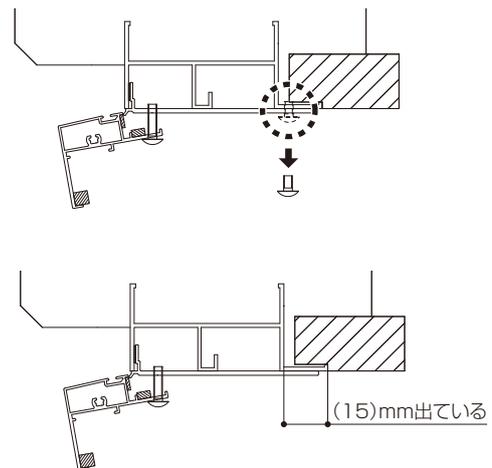
※分離した場合は部材の落下などに十分注意して取付けしてください。

⑧上ベース材が既設サッシ枠から15mm程度出ている事、または識別ねじが見えている事を確認してください。

※上ベース材の室内側中央に識別ねじが取付いています。



識別ねじが窓枠または既設サッシ枠アングルに干渉する場合は、取外して、上ベース材が既設枠見付け面より15mm程度出ていることを確認してください。



⑨コンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけて(ハンマードリル推奨)、ねじ止めしてください。

CHECK! 深さは50mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。

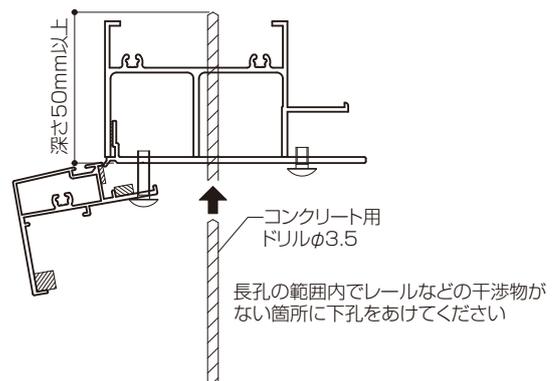


図-1 上ベース材・上カバー材の取付け(つづき)

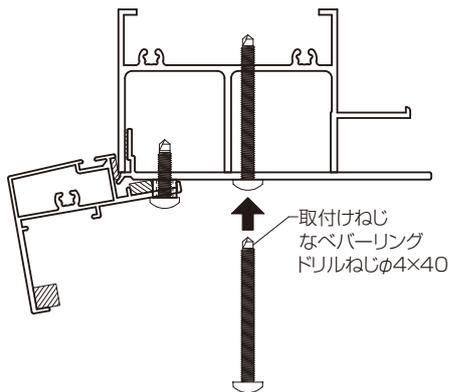
⑩上ベース材をねじ止めしてください。

CHECK!



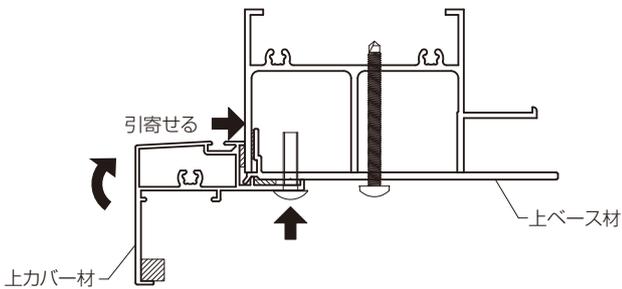
ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます。

- ・穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。



⑪上カバー材を既設サッシ枠に押しあて、室内側に引寄せて、両端と中央の仮固定ねじAを締めてください。

仮固定ねじA：両端・中央



⑫上カバー材を既設サッシ枠に押しあて、室内側に引寄せて、上ベース材にねじ止めしてください。

B：中間

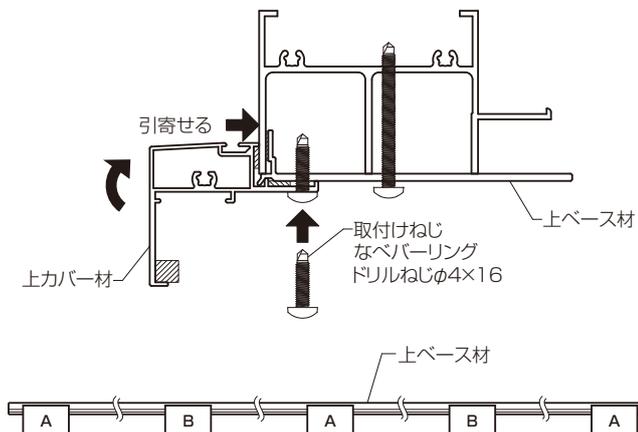
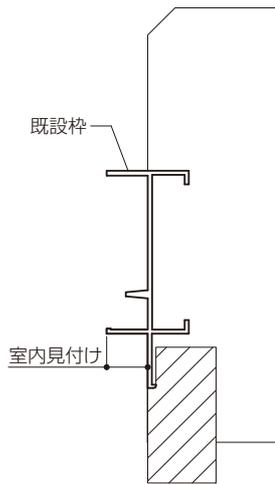


図-2 縦ベース材の取付け

縦ベース材	取付けねじ	
		
縦ベース材	なべパーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平パーリングドリルねじ φ4×31 (D7)

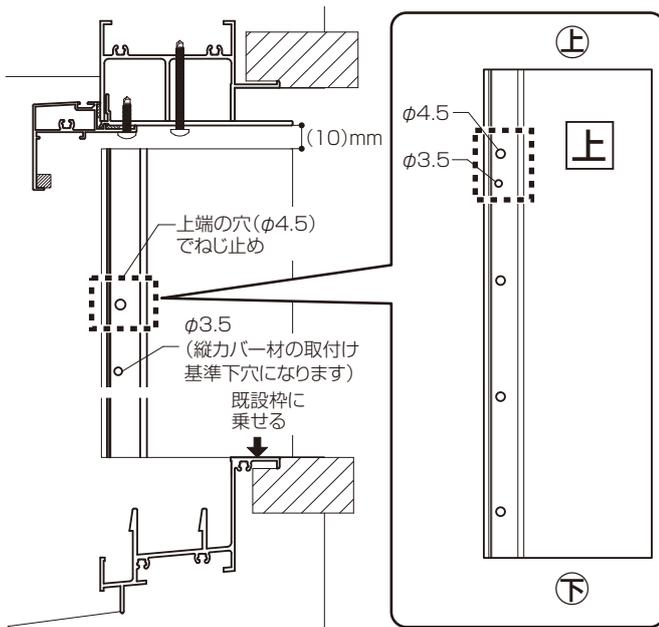
- ①既設サッシ枠の室内見付け寸法を確認してください。
室内見付け寸法 ≥ 10 mmの場合はP.28の②に進んでください。
室内見付け寸法 < 10 mmの場合はP.29の②に進んでください。



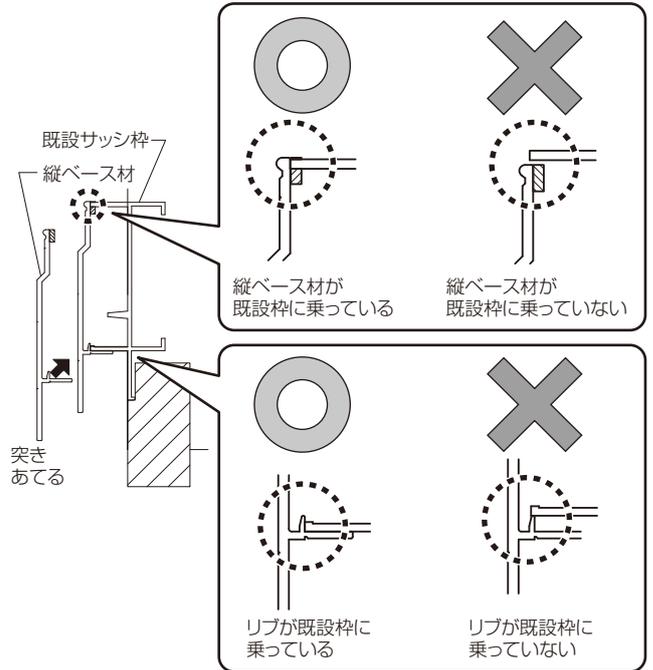
■既設サッシ枠の室内見付け寸法 ≥ 10 mmの場合

- ②縦ベース材を既設サッシ下枠に乗せてください。

CHECK! 上端には取付け穴と縦カバー材の位置決め下穴があります。上端の穴をねじ止めしてください。



- ③縦ベース材を既設サッシ縦枠に当ててください



- ④縦ベース材の室内側をねじ止めしてください。

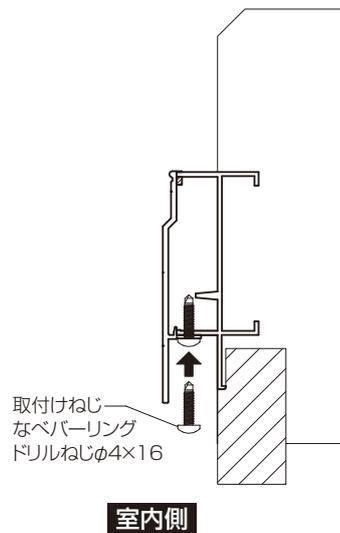
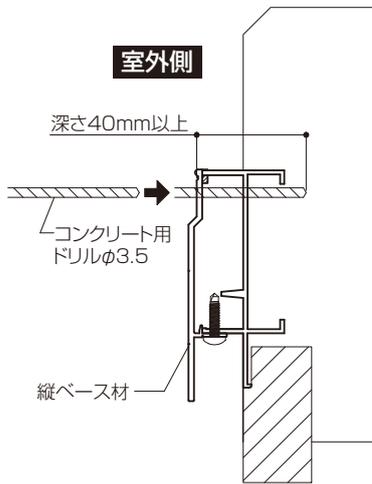


図-2 縦ベース材の取付け(つづき)

⑤ 室外側の取付け穴からコンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください(ハンマードリル推奨)。

CHECK! 深さは40mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。

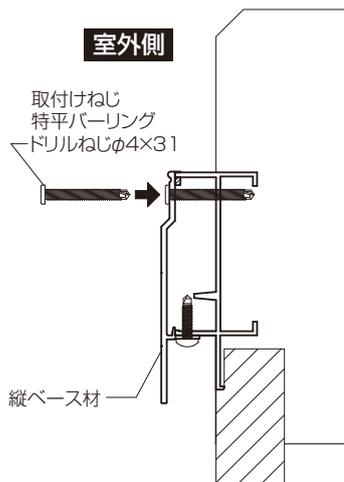


⑥ 縦ベース材の室外側をねじ止めしてください。

ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます

CHECK!

- ・ 穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・ 既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。

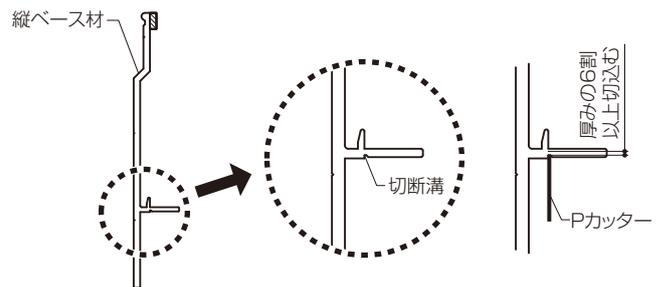


■室内見付け寸法<10mmの場合

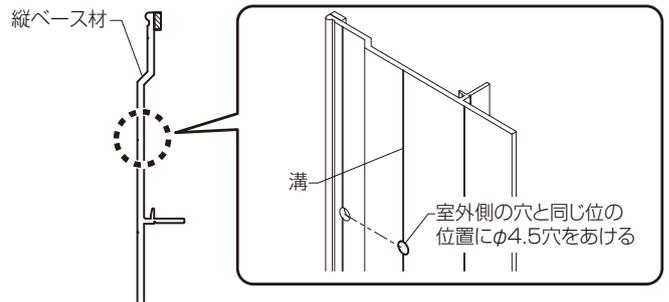
② 縦ベース材を切断手順を参考に溝で切断してください。

●切断手順

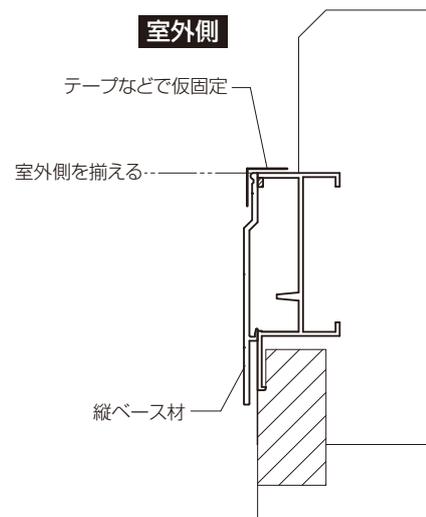
1. 裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
2. ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
3. 切断した面をバリ取りしてください。



③ 縦ベース材の室内側に取付け用φ4.5穴をあけてください。



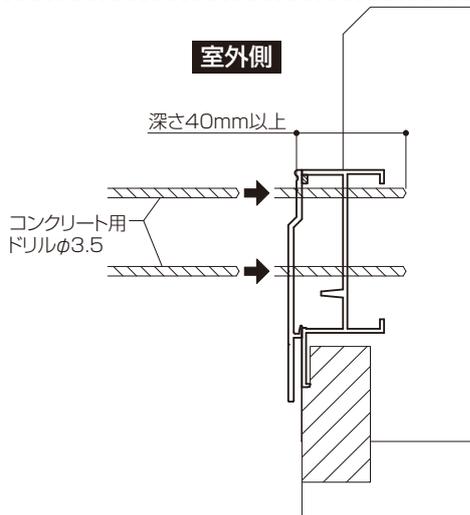
④ 縦ベース材と既設サッシ枠室外側を揃えてテープなどで仮固定してください。



2-2 縦ベース材の取付け(つづき)

⑤ 室外側の取付け穴からコンクリート用ドリルφ3.5で下穴をあけてください(ハンマードリル推奨)。

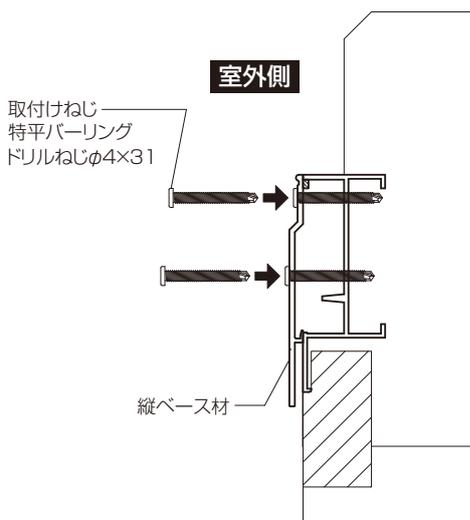
CHECK! 深さは40mm以上にしてください。下穴の深さが浅いとねじにカスが詰まりねじが打てなくなります。



⑥ 縦ベース材の室外側をねじ止めしてください。

CHECK! ねじが締まりきらない場合は、下記が考えられます。

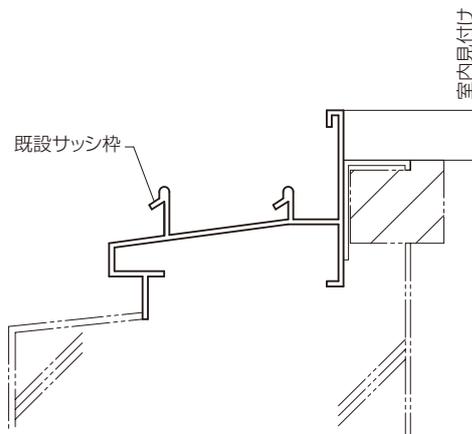
- ・ 穴あけ時に発生したドリルのカスが穴に残っている場合は、下穴のドリルカスを除去してください。
- ・ 既設サッシ枠の固定アンカーと干渉している場合は、左右どちらかに穴をあけなおしてから、ねじ止めしてください。



2-3 下チリアングルの取付け

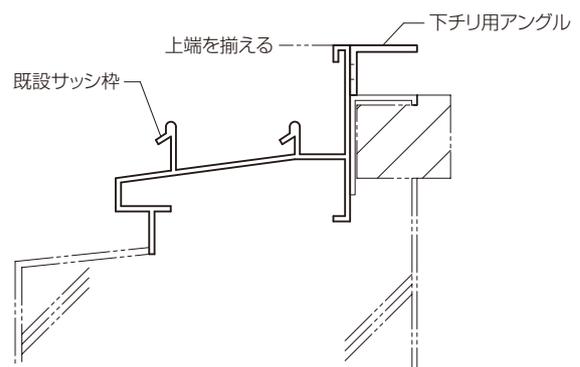
下チリ用アングル	取付けねじ
	下チリ用アングル 取付けねじ 
下チリ用アングル	皿バーリングドリルねじ(黒) φ4×13(D7)

① 既設サッシ下枠の室内見付け寸法を確認してください。室内見付け寸法 ≥ 15 mmの場合は②に進んでください。0mm $<$ 室内見付け寸法 < 15 mmの場合は2-4に進んでください。室内見付け寸法 ≤ 0 mmの場合は2-4に進んでください。

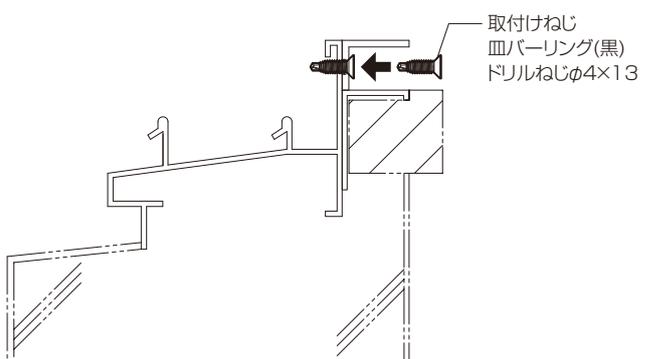


② 下チリ用アングルのリケイ紙をはがして、長手方向でおおよそ左右を均等にし、既設サッシ枠と上端を揃えるように、既設サッシ枠の室内側フィンに仮固定してください。

CHECK! 下チリアングルの上端と既設サッシ枠の上端を揃えてください



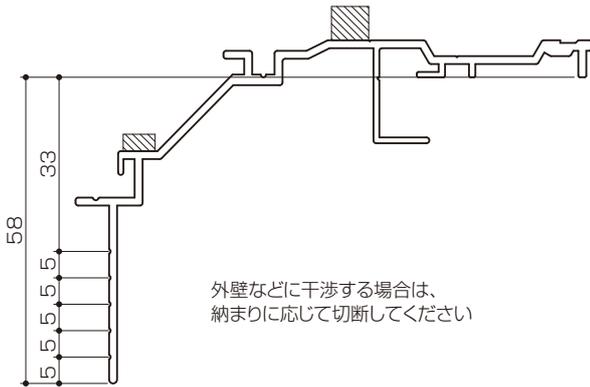
③ 下チリアングルをねじ止めしてください。



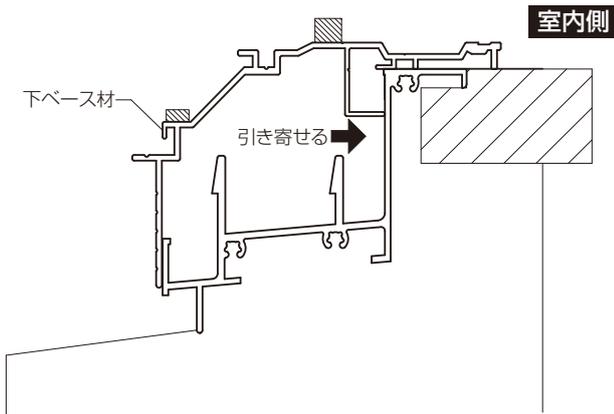
2-4 下ベース材の取付け

下ベース材	取付けねじ	
	下ベース材 取付けねじ	下ベース材 取付けねじ
下ベース材	なべパーリングドリルねじ φ4×16 (D8)	特平パーリングドリルねじ φ4×31 (D7)

①外壁などに干渉する場合は納まりに応じて切断してください。



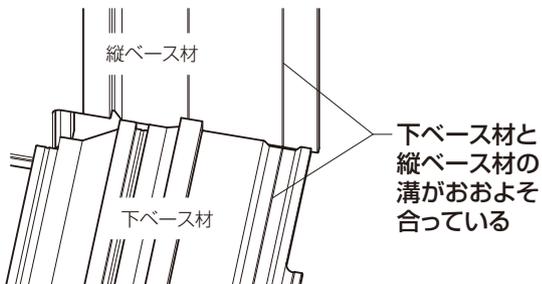
②下ベース材をおおよそ左右を均等に設置し、既設サッシ枠に当たるまで室内側に引き寄せてください。



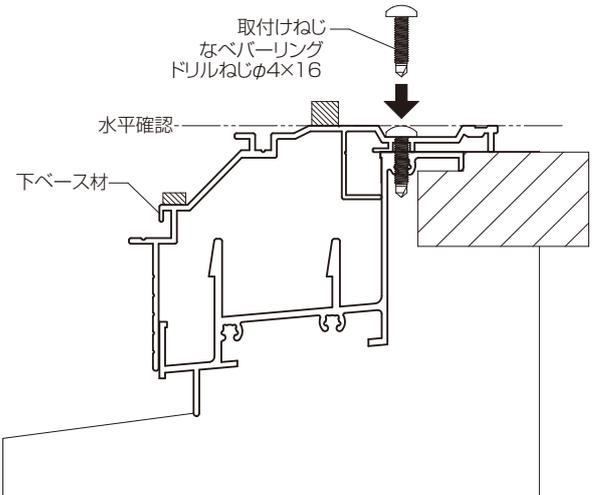
CHECK!



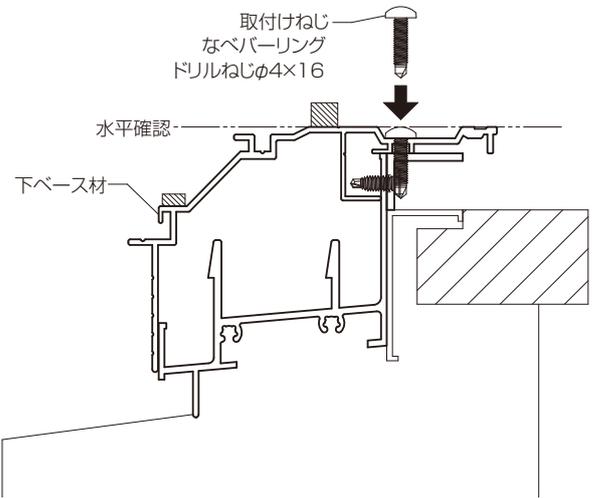
見込み位置が合っているかは、下ベース材と縦ベース材の溝で確認することができます。



③水平を確認しながらねじ止めしてください。



■下チリアングルを取付けた場合



P.30で測定した既設下枠の室内見付け寸法が0mm<室内見付け寸法<15mmの場合は以下のように下ベース材をねじ止めしてください。

■非防火の場合

■既設枠の上端と合わせるようにスペーサーを入れて、ドリルねじφ4×31でねじ止めしてください。

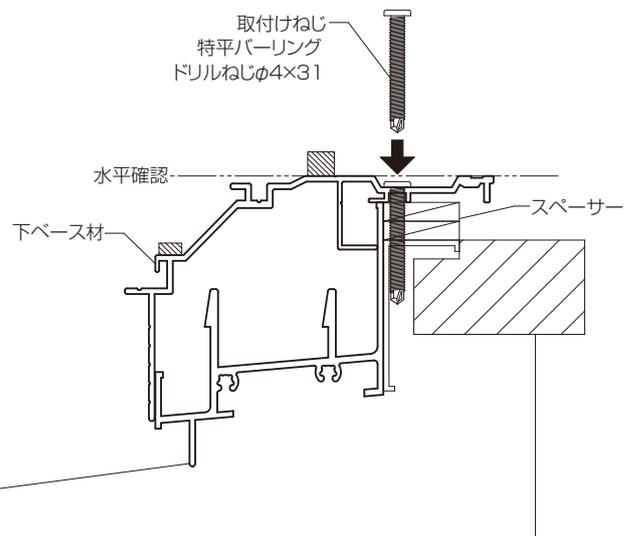
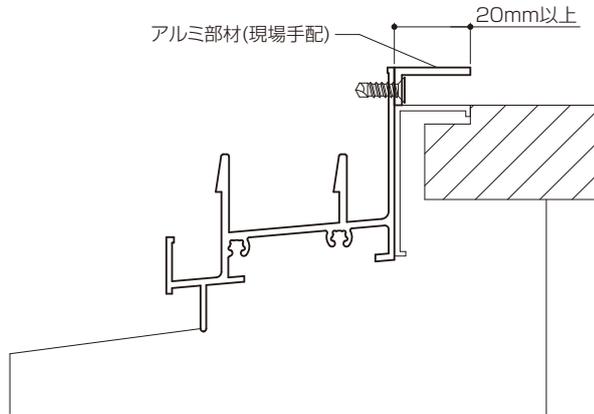


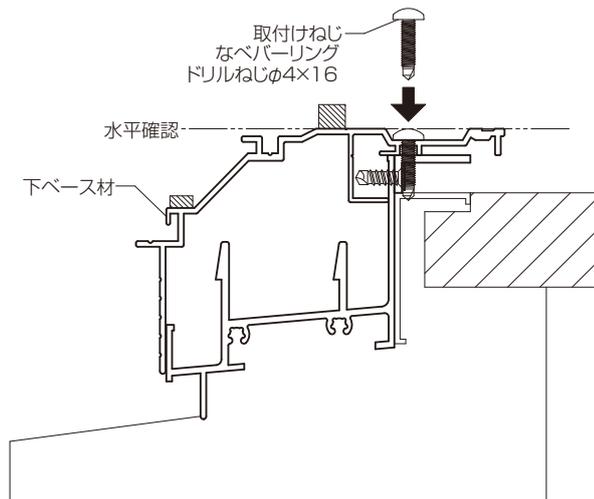
図-4 下ベース材の取付け(つづき)

■防火の場合

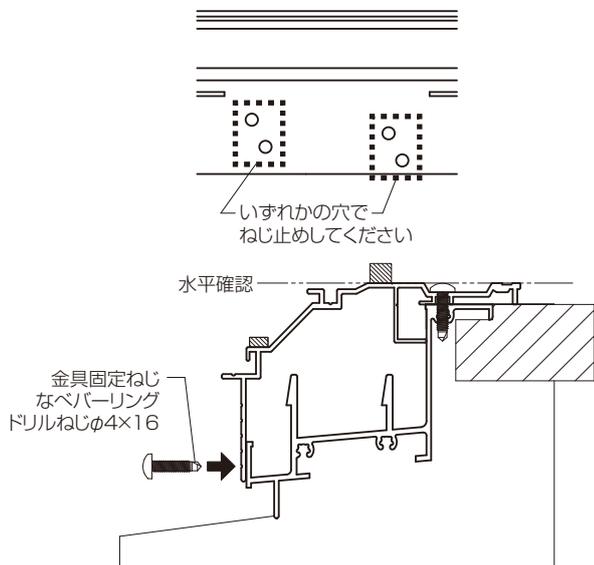
- 1.見込み寸法が20mm以上確保できるアルミ部材(現場手配)を既設枠に取付けしてください。



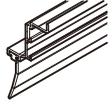
- 2.ねじ止めしてください。



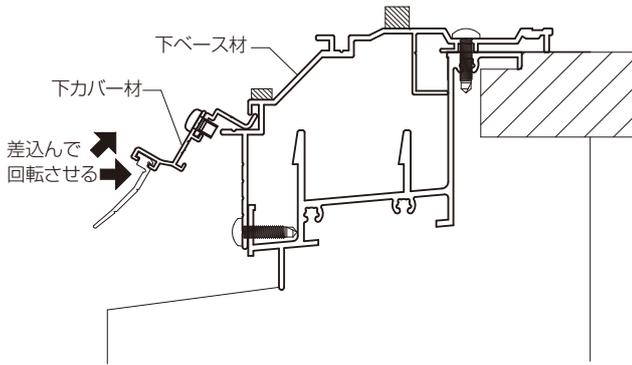
- ③下ベース材の水平を確認しながら下ベース材室外側のいずれかの取付け穴からねじ止めしてください。



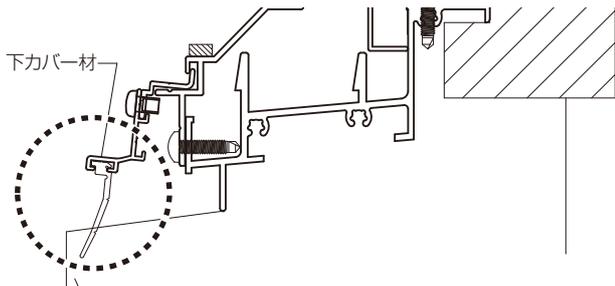
2-5 下カバー材の取付け

下カバー材	取付けねじ
	下：縦カバー材 取付けねじ
下カバー材	なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)

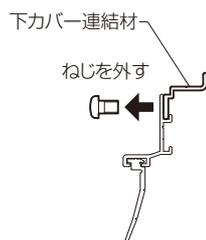
①下カバー材を下ベース材に差込み回転させます。



■下カバー材が外壁などに干渉する、または水切り材のあたりがきつい場合

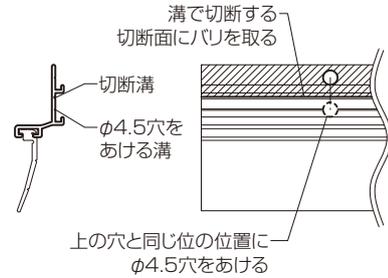


1. 下カバー材のねじを外して、下カバー連結材を外してください。



2. 溝で切断しバリ取りをしてください。バリ取り後φ4.5穴をあけてください。

※上の穴と同じくらいの位置にあけてください。



3. 取付けし直してください。

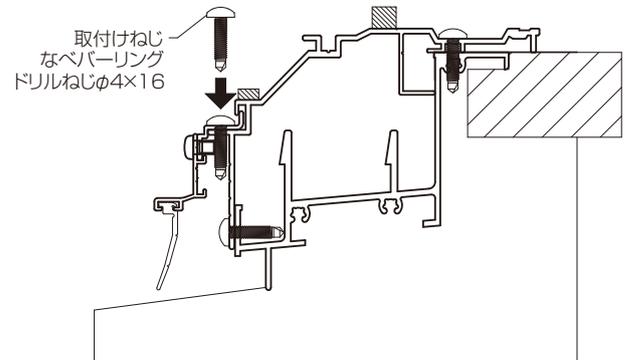


②下ベース材に下カバー材をねじ止めしてください。

CHECK!



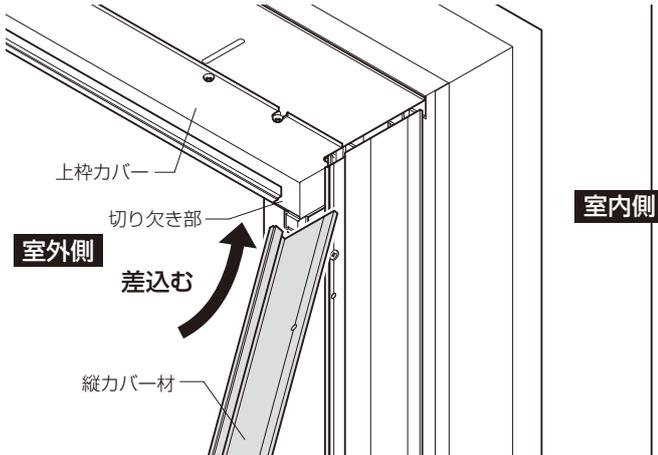
基準の下穴が内観左にあいています。



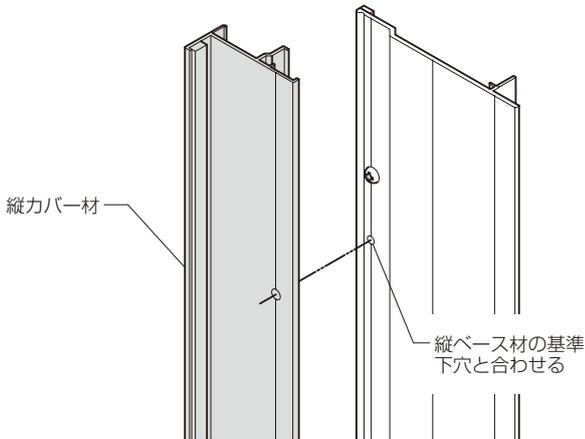
2-6 縦カバー材の取付け

縦カバー材	取付けねじ
 縦カバー材	下・縦カバー材 取付けねじ  なべバーリングドリルねじ φ4×16 (D8)

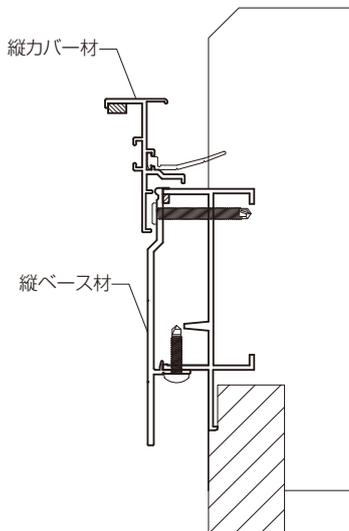
①縦カバー材を室外側から上カバー材端部の切り欠きに差込んでください。



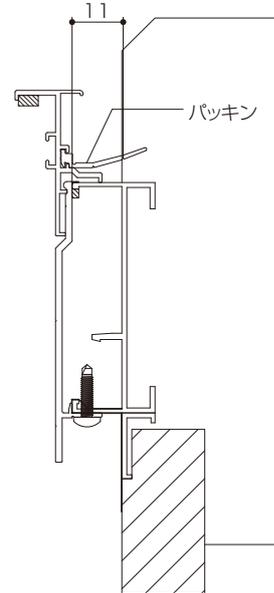
②縦カバー材を下に押し下げ、縦ベース材上方の基準下穴と取付け穴を合わせるようにしてください。



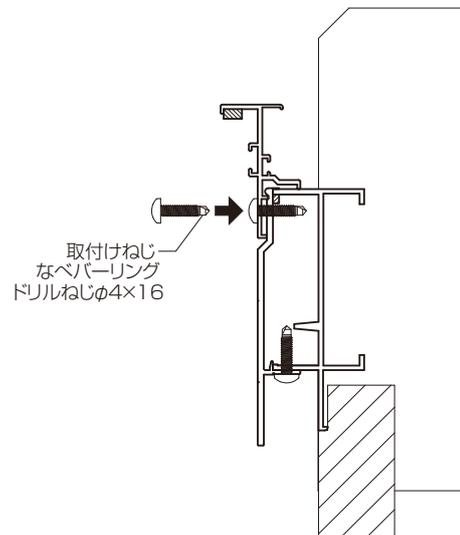
※防火RC仕様の場合に縦カバー材のパッキンと外壁との干渉が大きく取付けしにくい場合はパッキンをカットしてください。



CHECK! パッキンをカットする際は既設サッシ枠がパッキンで必ず隠れることを確認してください。



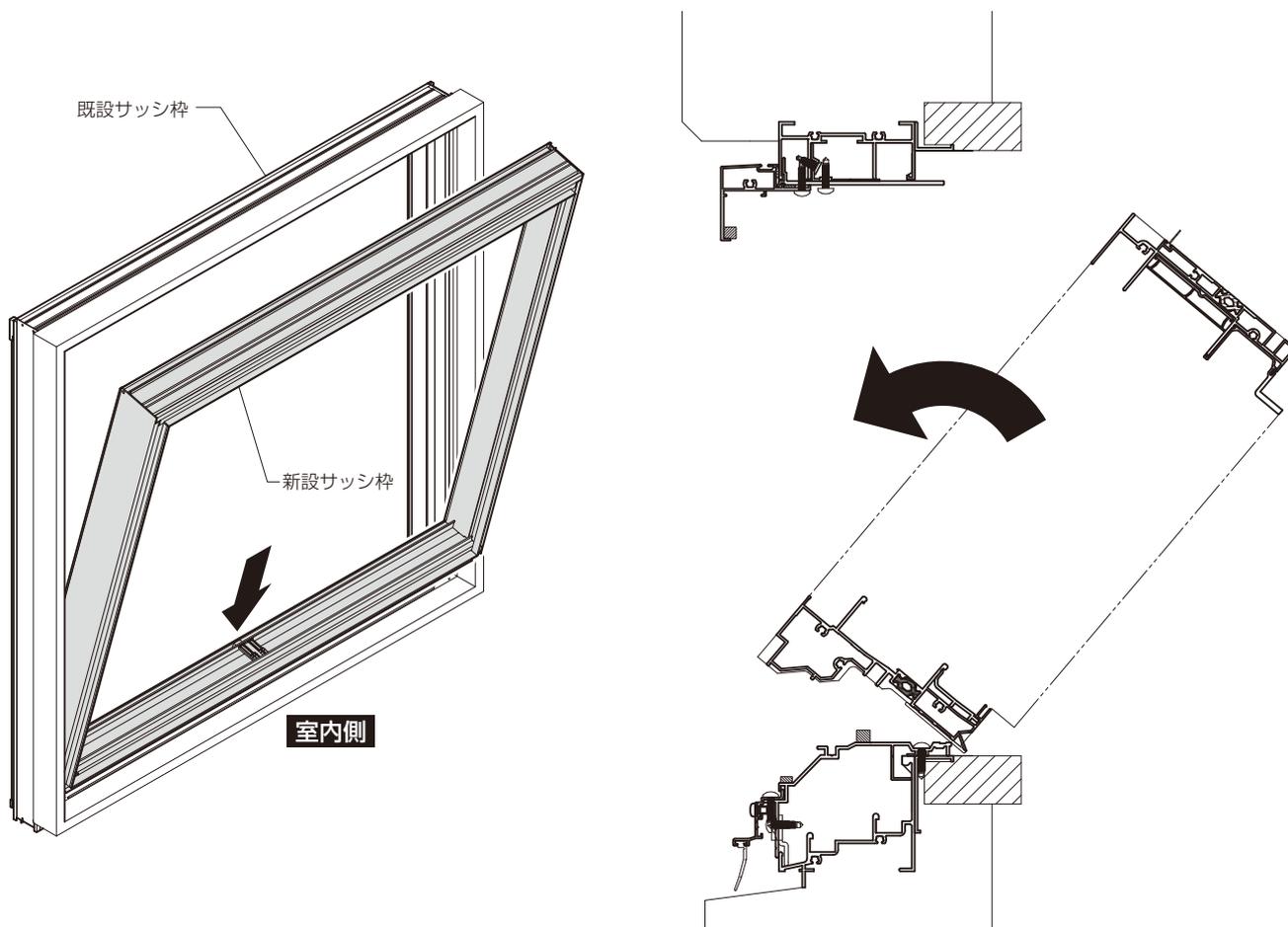
③縦カバー材を縦ベース材にねじ止めしてください。
※取付け穴と基準の下穴・溝が合うように止めてください。



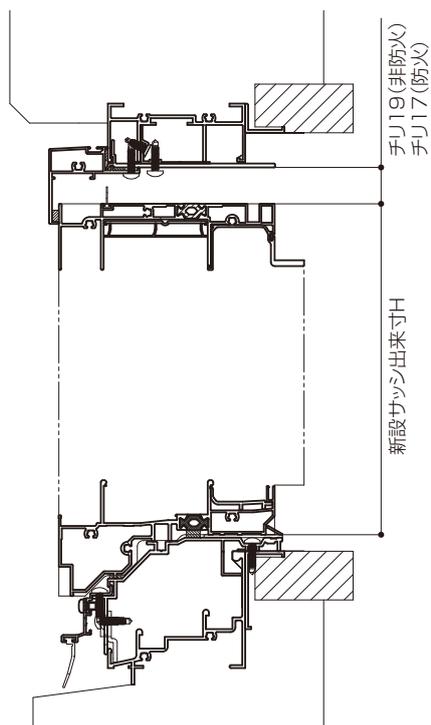
3 新設サッシ枠の取付け

3-1 新設サッシ枠の建込み

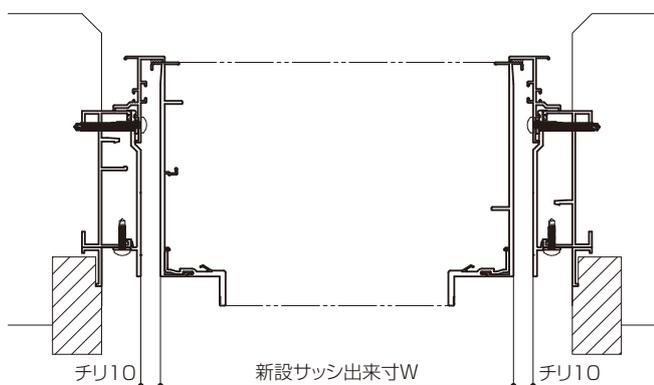
組立てした新設サッシ枠を既設サッシ枠室内側から回転させながら建込んでください。



●縦断面



●横断面



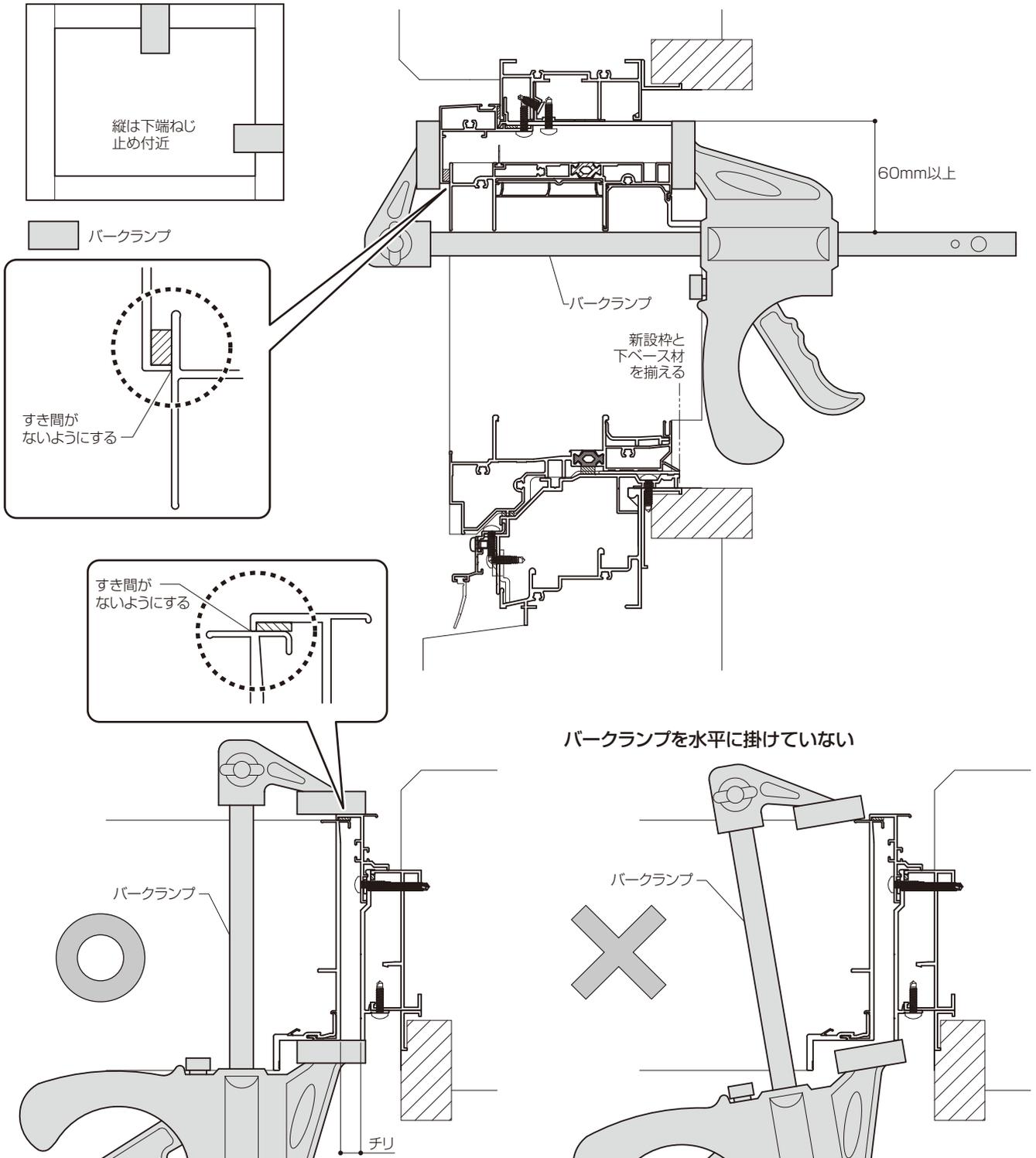
3-2 新設サッシ枠の仮固定

▲ 注意



- パークランプは水平に掛けて、止水材がつぶれるまでクランプしてください。クランプがゆるいと漏水の原因になります。

既設サッシ枠に対し、左右のチリを確認し、チリを均等にしてパークランプで仮固定してください。



3-3 新設サッシ枠の取付け

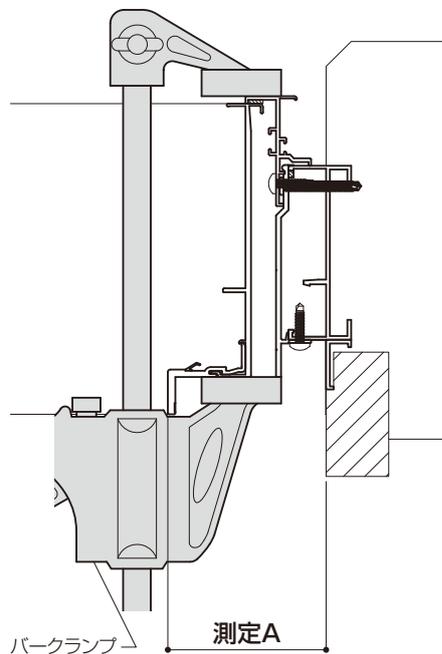
下枠の水平が出ているか水準器などで確認し、水平が出ていない場合は、スペーサーなどで調整してください。

下げ振り、水準器などで水平、垂直、対角を確認して、縦→下→上の順にねじ止めしてください。

■縦枠の取付け

取付けねじ		
縦枠室外側取付けねじ	縦枠室内側取付けねじ	縦枠室内側取付けねじ (連窓方立部)
		
薄平ドリルねじ φ4×28 (8.5)	薄平ドリルねじ φ4×28 (8.5)	薄平ドリルねじ φ4×25

①Aを測定し、60mm以下の場合は室内側でφ3.4下穴をあけてください。



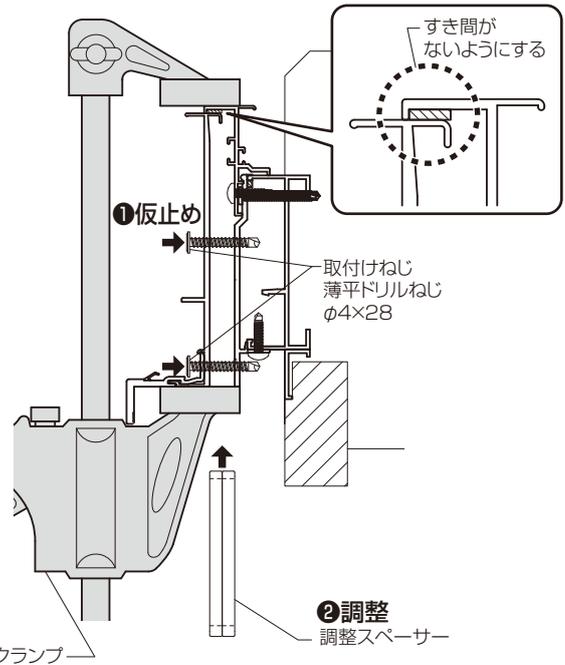
②ねじを仮止め後、調整スペーサーを入れて水平・垂直を確認してください。

※下枠と下ベース材にすき間がないことを確認した上で縦枠を固定してください。

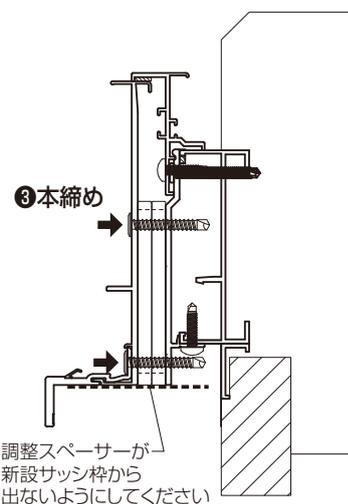
CHECK!



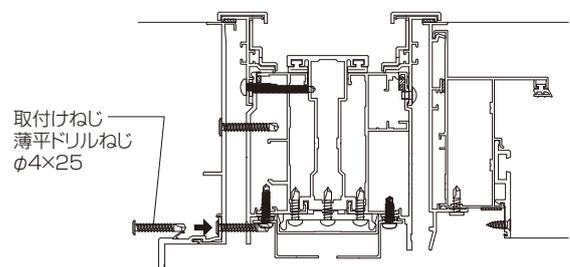
止水材がつぶれてすき間が無い事を確認してからねじ止めしてください。



③本締めしてください。



※連窓方立部は連窓方立カバー同梱のねじセットのねじを使用してください。

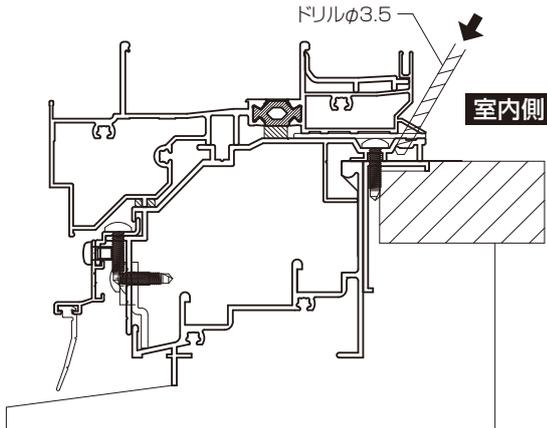


3-3 新設サッシ枠の取付け(つづき)

■下枠の取付け

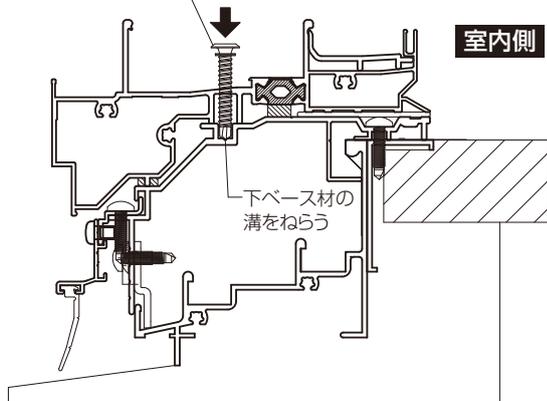
取付けねじ	
下枠室外側 取付けねじ	下枠室内側 取付けねじ
	
薄平(テーパ付)ドリルねじ (ワッシャー付) φ4×28 (D8.5)	なべドリルねじ φ4×12 (D7)

①下枠の室内側ねじを止めやすくするため、φ3.4下穴をあけてください。



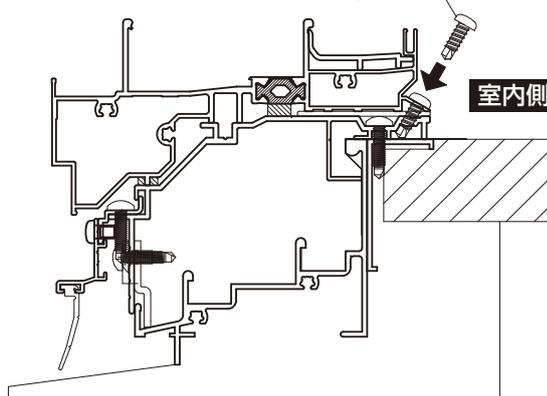
②室外側をねじ止めしてください。

①取付けねじ
薄平ドリルねじφ4×28
(止水ワッシャー付)



③室内側をねじ止めしてください。

②取付けねじ
なべドリルねじ
φ4×12

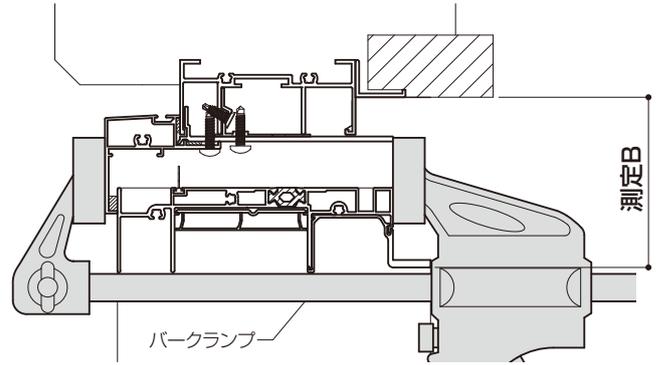


■上枠の取付け

取付けねじ	
上枠室外側 取付けねじ	上枠室内側 取付けねじ
	
平ドリルねじ φ4×45 (D7)	平ドリルねじ φ4×45 (D7)

①Bを測定し、65mm以下の場合は室内側でφ3.4下穴をあけてください。

上アタッチ材を使用している場合は室外側でφ3.4下穴をあけてください。

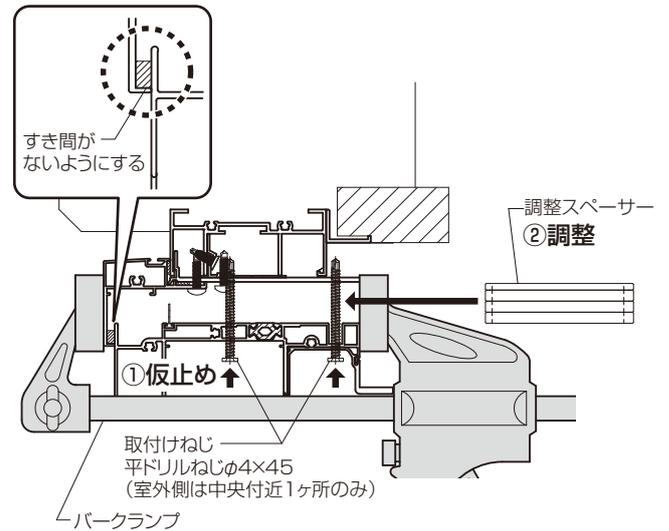


②ねじを仮止め後、調整スペーサーを入れて水平・垂直を確認してください。

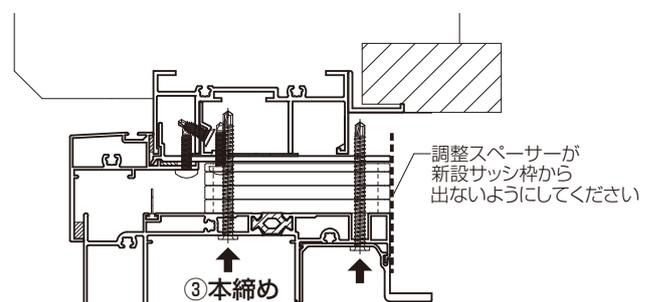
CHECK!



止水材がつぶれてすき間が無い事を確認してからねじ止めしてください。



③本締めしてください。

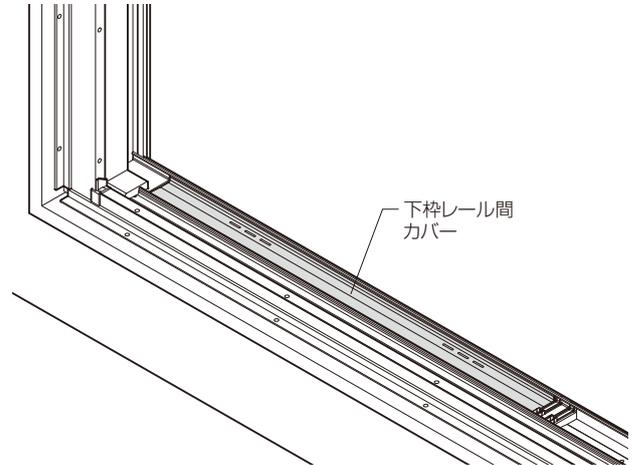
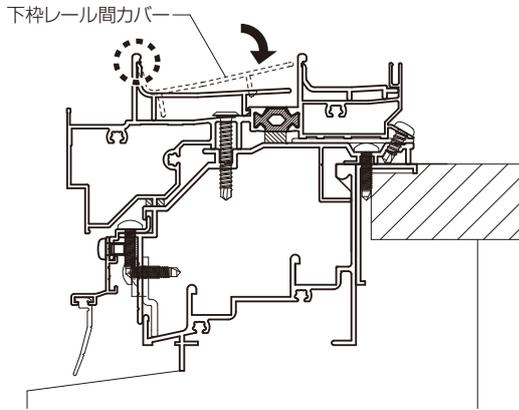


3-3 新設サッシ枠の取付け(つづき)

下枠に下枠レール間カバーを取付けしてください。
左縦枠に縦枠カバーを取付けしてください。

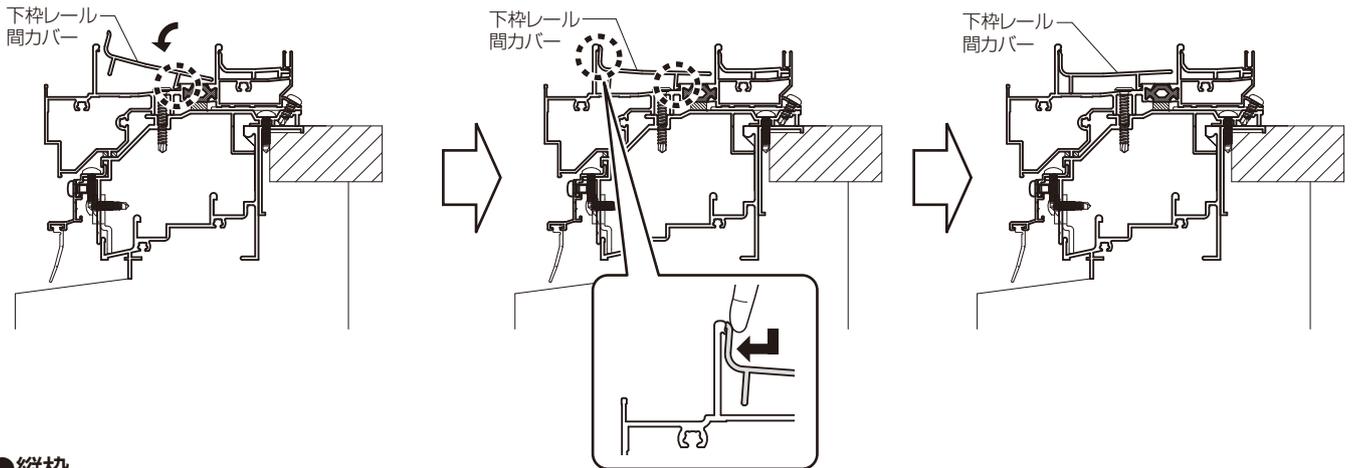
■非防火の場合

❶部に差込み室内側に回転させて、下枠に嵌めてください

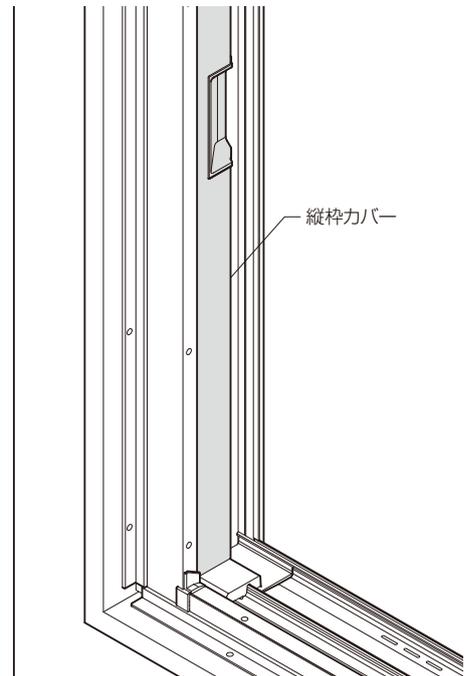
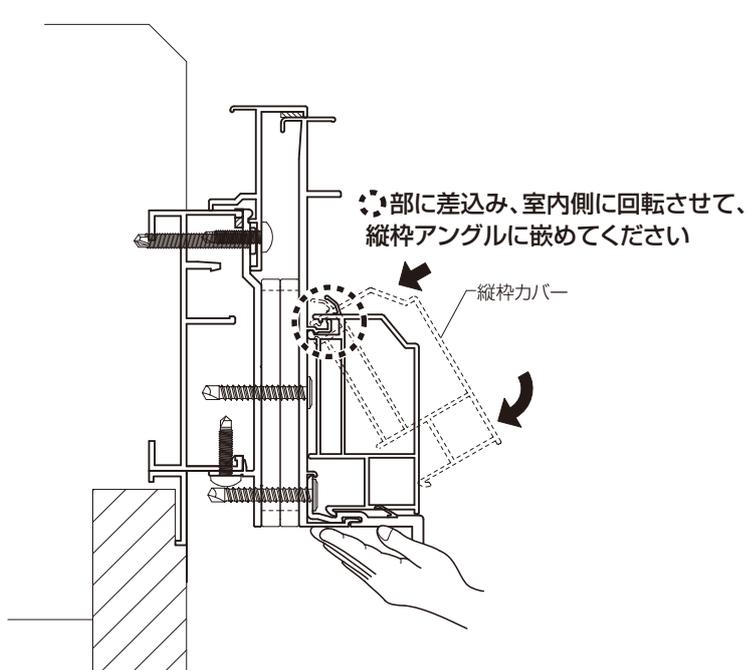


■防火の場合

❶部に差込み室内側に回転させて、下枠に嵌めてください



●縦枠



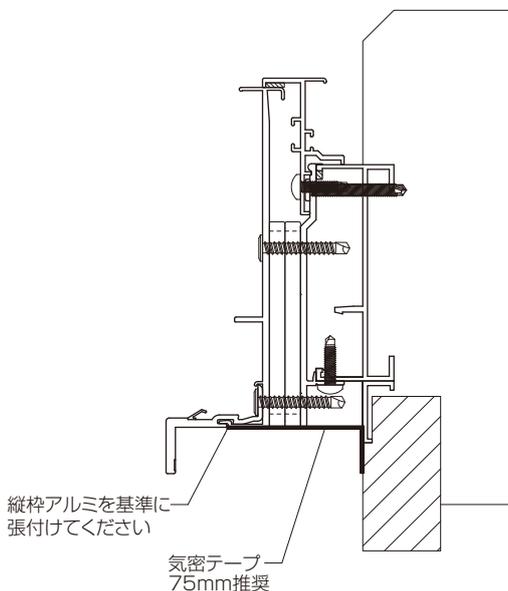
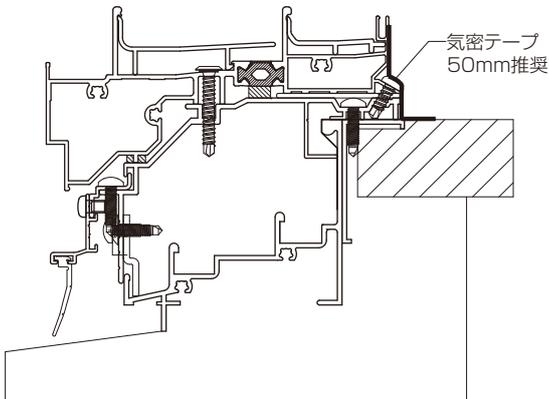
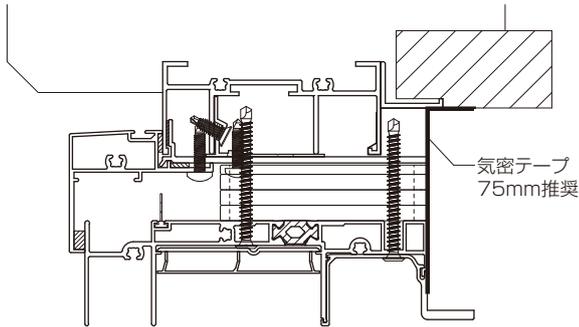
3-4 気密テープの張付け

▲ 注意

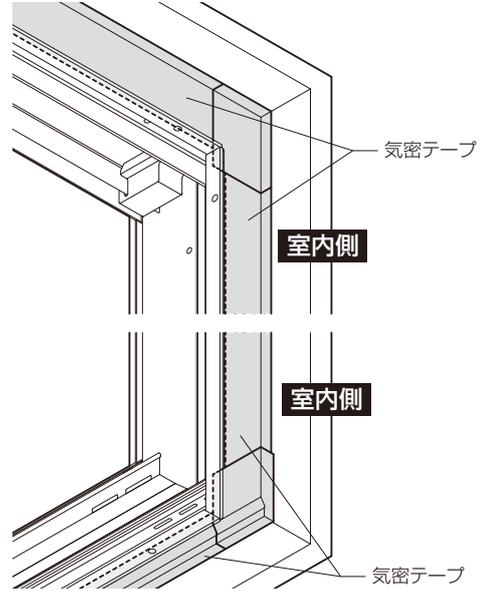


●既設サッシ枠と新設サッシ枠の間を気密テープで浮き・すき間なくふさいでください。重ね合わせやつぎ足す場合は10mm以上重ねてください。漏水の原因になります。

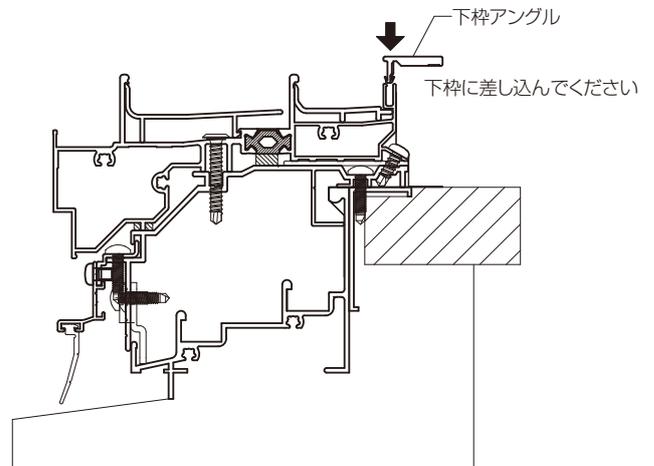
図を参考にローラー、へらなどを使用し、先に張付けた気密テープに気密テープを浮き・すき間なく張付けてください。コーナー部は重ね合わせて張付けてください。



●コーナー部



下枠に下枠アングルを取付けてください。
※テラス用アタッチメント納まりの場合はテラス用アタッチメント取付け時に取付けします。



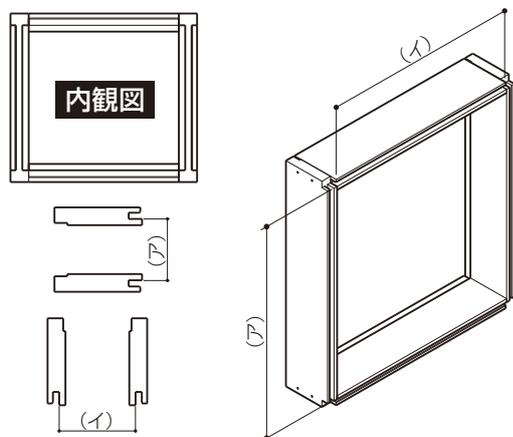
- ※室内仕上げがアングルカバー、見切材、納まりの場合は、アングルカバー同梱の説明書を参照してください。
- ※面格子を取付ける場合は障子を建込み前に取付ける必要があります。面格子同梱の説明書を参照してください。
- ※室内仕上げがカバー用ケーシング納まりの場合はP.41に進んでください。
- ※新設障子の建込み、建付け調整はP.44に進んでください。

有償品の取付け

4 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)

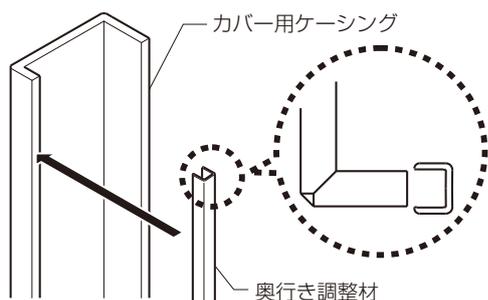
■DS窓枠の採寸

DS窓枠の溝間の寸法(ア)、(イ)(下図参照)を採寸してください。

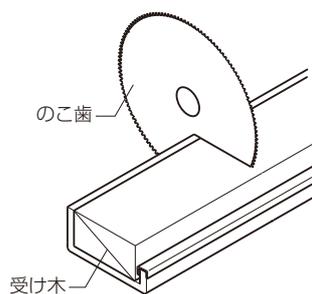


■ケーシングの切断

①奥行き調整材をカバー用ケーシングに取付けます。
※足の短い方に奥行き調整材を取付けてください。



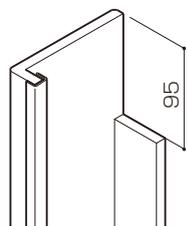
②切断します。
※切断する際は、受け木を入れてから切断してください。



〈縦枠・横枠切断寸法算出方法〉

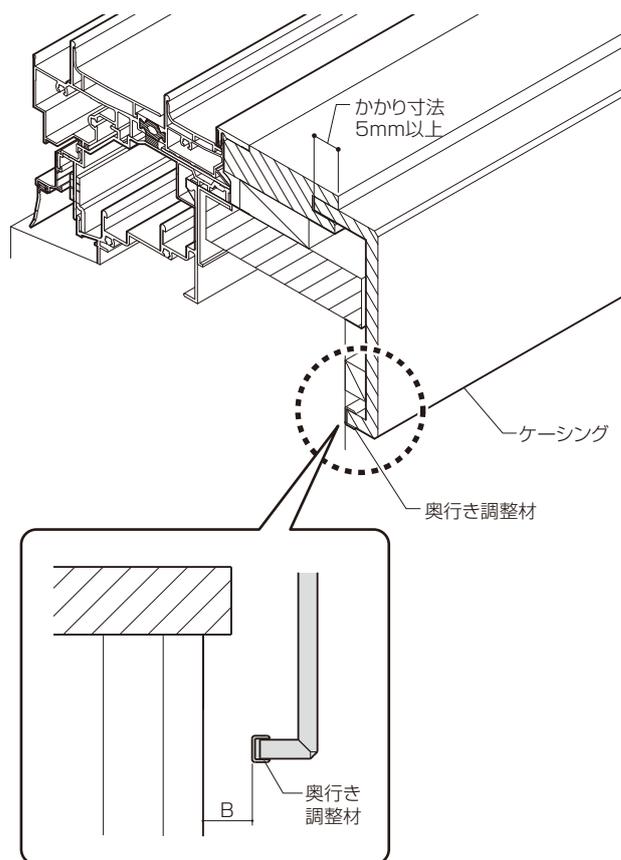
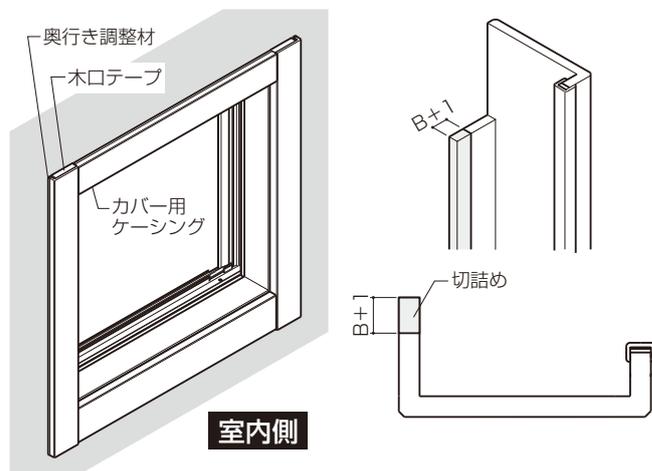
	四方枠
縦枠切断寸法	(ア)+210
横枠切断寸法	(イ)

③縦枠の足の部分に下図の寸法にて切り欠きをしてください。
※四方枠の場合は上下に下図の切り欠きを行ってください。



■ケーシングの取付け

①枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
※壁面とすき間が生じる場合は、すき間の寸法分足を切詰めます。
※縦・横ケーシングの足が一律にケーシングの溝に5mm以上上かかるようにしてください。

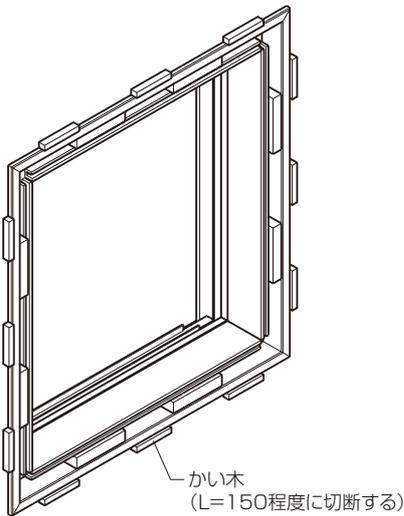


4 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)(つづき)

■ケーシングの取付け(つづき)

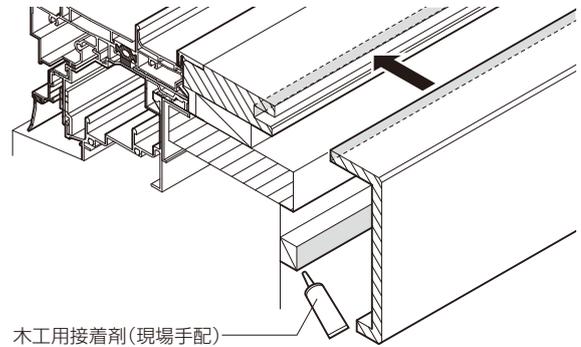
②ケーシングの取付け後のガタツキをなくすため、旧窓枠の室内側の四周外側に、同梱されているかい木を下記の図の要領にしたがってカクシ釘にて壁に固定してください。

※かい木を取付ける際、ケーシングが取付けられるかをあらかじめ確認してください。ケーシングが取付けられなくなる場合は、かい木を薄く切断して取付けてください。



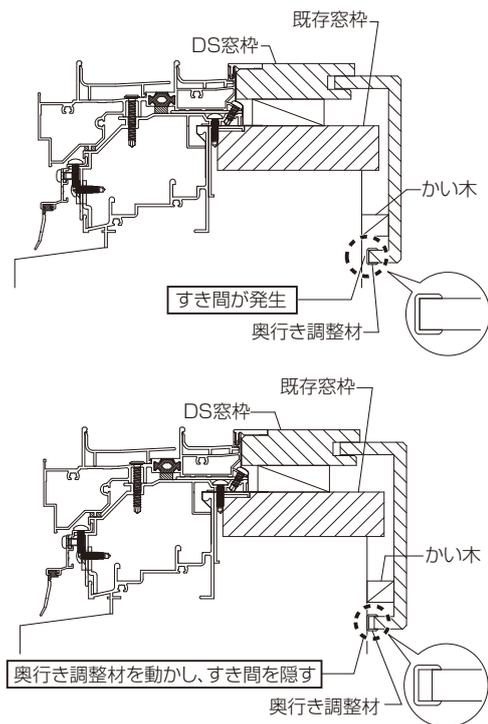
③下図のアミ掛け、ケーシングの足部にまんべんなく木工用接着剤(現場手配)を塗布した後、すき間、ズレの調整を行い、ケーシングを固定してください。

※仮止めをする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。



■調整方法

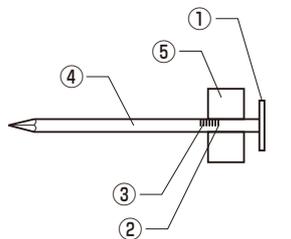
壁の不陸などにより、壁との間にすき間ができた場合は、奥行き調整材にて下図に示すように調整してください。



専用カクシ釘の使用方法

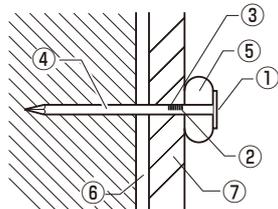
●各部名称

- ①釘頭 ②切断筋
- ③抜止め筋 ④残留釘
- ⑤弾力材 ⑥接着材
- ⑦部材
- ⑧パッチャルペンシル材



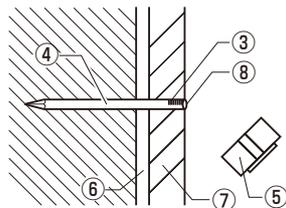
●仮止めする場合

釘頭①を打込むと切断筋②は部材⑦に入り込みこれで仮止め完了です。



●仮止めする場合

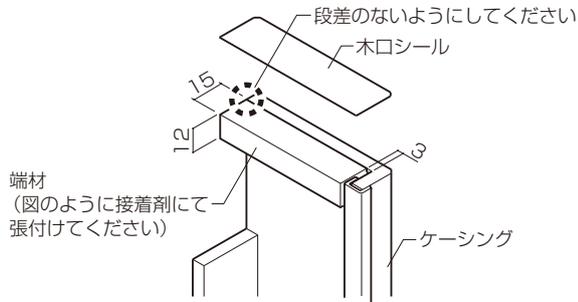
接着完了後、弾力材⑤を横からたたいて折付けます。抜止め筋③が働き「本止め」となります。



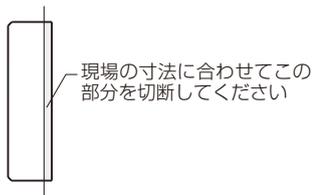
4 室内仕上げ材の取付け(カバー用ケーシング納まりの場合)(つづき)

■木口テープの張付け

縦枠端部に木口テープを張り、基材の露出部を隠してください。この時、木口テープがうまく接着できるように、端材などであらかじめすき間を埋めておいてください。



※木口シールは現場の寸法に合わせて切断してご使用ください。(奥行き調整により、若干切断寸法が変わってきますので、現場に合わせて切断してください。)



5 新設障子・網戸の建込み、建付け調整

5-1 障子・網戸の建込み、建付け調整

■戸車調整

戸車調整上のお願い

●外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)

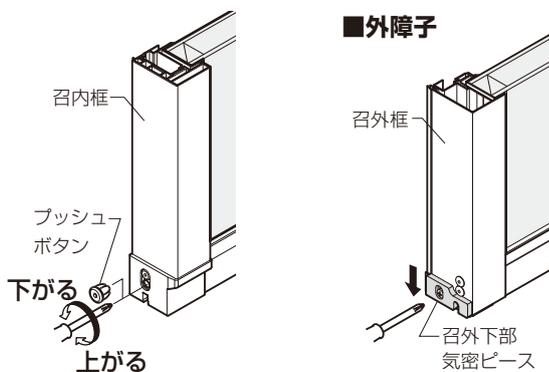
●プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)

※戸車調整穴は、防火戸テラスの召外枠のみ、中央の穴になります。

防火戸テラスの召外枠以外は最下端の穴が戸車調整穴になります。

※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

※調整後はしっかりねじを締めてください。



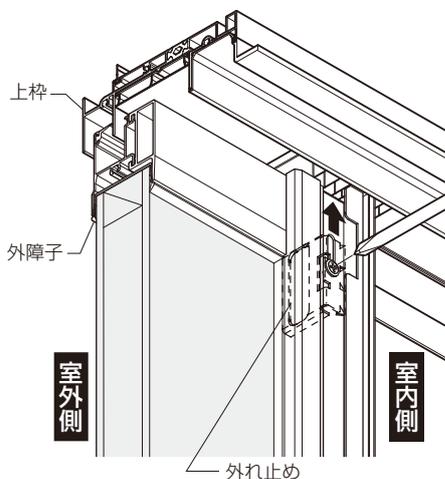
■外れ止め調整

▲注意



●必ず外れ止めを上げてください。
障子が落下するおそれがあります。

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。



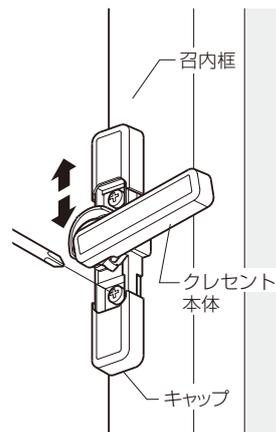
■クレセント調整

【上下方向の調整】(クレセント本体)

①キャップを外します。

②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

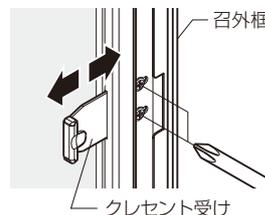
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】(クレセント受け)

●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めてください。



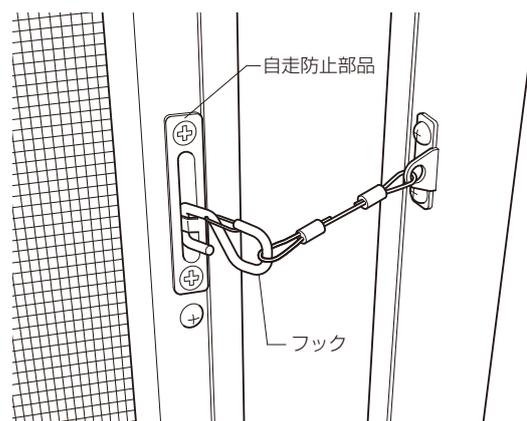
■網戸の自走防止部品

▲注意



●必ず自走防止部品にフックをかけてください。
網戸が落下するおそれがあります。

●網戸の自走防止部品にフックをかけてください。



MEMO

MEMO

MEMO

MEMO
